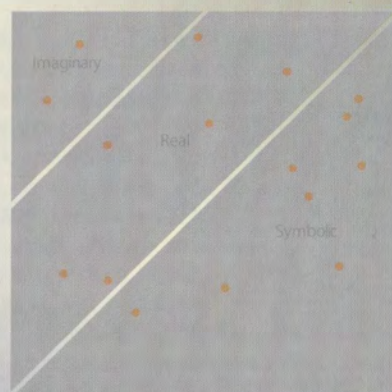


卒業研究作品選集

愛知産業大学 通信教育部
造形学部 建築学科



aSu
AICHI SANGYO UNIVERSITY

2013

建築学科の方針 —— 学術、技術、芸術を集結した建築の総合教育

本学科は、工学系、美術系の枠にとらわれず総合的な造形としての建築を学んでいただき、21世紀にふさわしい建築の設計者や建築の知識を持って社会に貢献できるキーパーソンを育成することを図っています。

常に空間を意識した建築造形の能力、社会の課題や要請に的確に答える資質を養うために、工学、美術、芸術、社会科学や一般教養などでバランスよく構成された豊かなカリキュラムを用意しています。建築造形、建築設計、CAD、構造構法、力学の演習科目を中心に建築の各専門分野から幅広く学べます。さらに大学教育の集大成として卒業研究に取り組みます。

通信教育は情報化社会、生涯学習の時代に適した教育システムです。社会人が効果的に通信教育で建築について学べるよう、通信科目やスクーリングの内容、学習方法については工夫を凝らし常に改善を加えています。

愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科は、豊かな文化性と社会性を兼ね備え、総合的な視野で建築をとらえてこれからの社会を考えられる力を身につける教育の場を提供します。



越前谷 智 教授

建築学科の特色 —— 実践的な教育

美しく、人に喜ばれる建築、街並みを作りたい。



建物に住む人、その街に暮らす人、そして訪れる人が喜びを感じられる、そんな建築ができれば社会的意義は大きいと思いませんか。ファッションが機能性、美的センスを重要視するとおり、建築や街並みも環境に調和した機能や美しさ(デザイン)が求められます。単に雨、風がしの

げるだけではいけません。自己満足でも困ります。21世紀の日本は、美しい未来を予感させ、何かワクワクするような建築や街並みが求められています。皆さんも、その一翼を担う建築家や設計のプロフェッショナルを目指してみませんか。

社会で活躍できる人材の養成



忙しい時間を割いて学ぶ皆さんにとって、その貴重な学習時間が、今後の仕事や日常生活に結びつけられれば言うことがありません。通信教育部建築学科はまさにそこにねらいをおき、社会

人を対象とした受講しやすい教育システムを構築しています。

教育内容は短期間(3日間)のスクーリングや通信科目でできるだけ多くの建築知識・技術が得られるよう、課題作品やレポート課題に工夫をこらしています。スクーリングでは、より高いレベルの集中講義、演習を行うため、現役で活躍する建築家や各建築専門分野の教員が授業を行います。さらに造形学部の特徴を活かし、工学や芸術の枠にとられない、創造的な視点で建築を考えられる人材の育成を目指しています。

建築士の資格を視野に入れて



建築業界で働こうとする人が建築士の資格を必要とするのは言うまでもありません。ある先生の話ですが、「力士がまわしをつけるのと一緒で、建築業界で頑張るのだったら、まずはまわし(建築士資格)をつける必要がありますね。」とおっしゃっていました。建築士の資格取得は、本学科の目標の一つですが、無理なく取得できるよう配慮しています。卒業後には、二級建築士の受験資格が得られます。また実務経験2年を経て一級にもチャレンジ可能です。受験対策では、無料の学習相談会やWEB質問掲示板でサポートしています。さらに学科、校友会(卒業生の会)では資格学校(日建学院)と提携し、学科講座をバックアップしています。

スクーリング会場(東京・名古屋)やネット学習環境の整備にも力を



通信教育で学ばれる方は在住地を問わず、各地から学びに来られます。場所を問わないことは通信教育の魅力の一つですが、本学ではスクーリング受講(面接授業)の利便性を考え、現在はスクーリング会場を各地から利便性の高い東京と名古屋におき、遠方でも受講しやすい運営態勢をとっています。また大阪や福岡においても提携

の専門学校の協力を得て、多くのスクーリングを開催しています。東京と名古屋では建築学科で卒業に必要なスクーリング全てを開講し、週末以外に水曜日もスクーリングを開催しています。更にスクーリング以外でオープン教室(自由参加型学習会)を定期的に行い、学習サポートを行っています。その他、インターネットを活用し、eラーニングやWEB掲示板やブログの情報提供で積極的に学習環境の整備を図っています。

平素より愛知産業大学には格別のご厚情を賜り、謹んで御礼申し上げます。

さてこのたび、通信教育部造形学部建築学科では、今年度の卒業研究総数約 100 点が最終審査に合格いたしました。この冊子はその研究成果が優秀であるものを 17 点、選出いたしました。社会人やダブルスクール（通学の専門学校と通信制の大学）の制度で学ぶ併修生含め、様々なバックグラウンドを持つ通信教育部の学生らしい意欲的な作品が集まりました。

本学のあります愛知県では毎年この展覧会（名古屋展）を開催し、東京での開催（東京展）も既に8回目となりました。特に名古屋展では現役の建築家を迎えての公開講評会も会期に併せて開催し、4回を数えました。

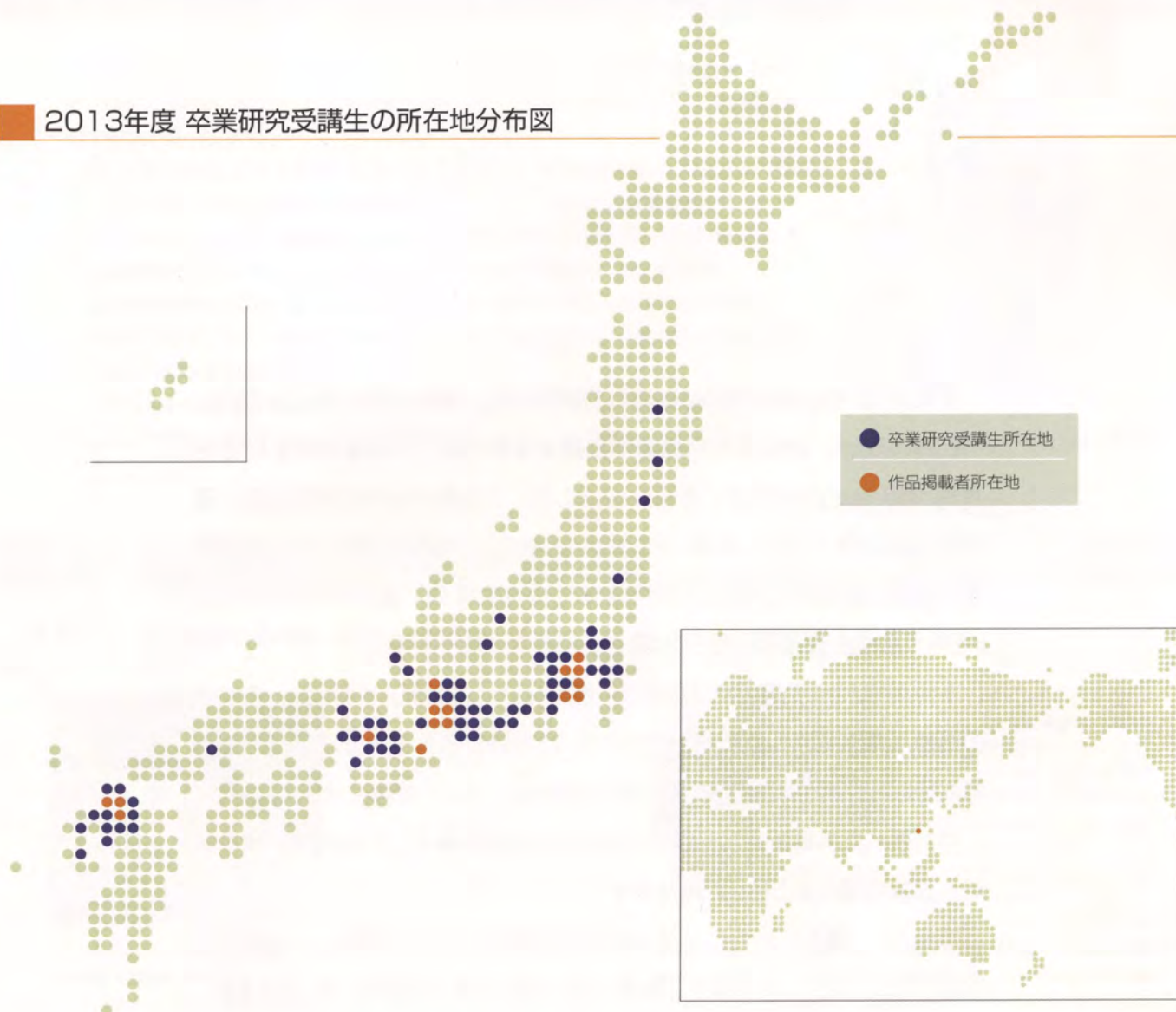
特に優れた卒業研究には学科より卒業研究賞を授与しております。また学外の展覧会等へも出展してまいります。

今後とも、優れたデザインを生み出せる卒業生の輩出を目指して一層の努力を続けてまいります。引き続きご指導ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

愛知産業大学 通信教育部

造形学部 建築学科主任 越前谷 智

2013年度 卒業研究受講生の所在地分布図



2013年度 卒業研究の分析とトレンド

※コンセプトの文章に対しキーワード重要度計算プログラムを適用し、その出力結果に固有名詞等の除去などのクレンジング処理を行った。

コンセプトの分析によるトレンド

	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度
1 位	人	街	建築	空間	人	空間	道
2 位	人々	空間	地域	人	空間	施設	施設
3 位	空間	人	人	森	建築	人	まち
4 位	施設	商店街	土地	地域	場所	都市	人々
5 位	街	文化	人々	時代	場	生活	周辺
6 位	地域	流れ	計画	光	街	地域	交流
7 位	建築	歴史	住宅	建築	地域	日本	文化
8 位	観光客	建築	道	計画	施設	場	森
9 位	場	家族	公園	人々	商店街	環境	壁
10位	都市	生活	学校	地域力	人々	街	集合住宅

コメントの分析によるトレンド

	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度	2008年度	2007年度
1 位	街	街	建築	空間	空間	人々	都市
2 位	空間	建築	作品	作品	都市	街	デザイン
3 位	駅	空間	空間	建築	作品	建築空間	施設
4 位	公園	都市	街	都市	建築	人	建築空間
5 位	作品	人	都市	施設	場所	空間	可能性
6 位	計画	計画	地域	提案	場	空間性	造形
7 位	都市	提案	学校	人	造形	研究	敷地
8 位	人	自然	場	建築空間	災害	都市	空間
9 位	提案	商店街	可能性	川	商店街	施設	環境
10位	力	造形	木	スケール	社会性	世界観	流れ

2013 年度 卒業研究 全リストと選出作品目次

選出作品	賞など	タイトル	氏 名	掲載頁
		山形スタジアム「オラエンドコ」 街なか複合型スタジアム	相崎 信彦	
		Happy Valley in Yokosuka 住まいと医療 横須賀谷地域活性化計画	相吉澤 美由紀	
		Titanium Glass Station 高速道によって分断される生活圏を新素材「チタン」で再び結ぶ	芥川 豪男	
		渾身ごみ処理計画	伊澤 祐子	
●	卒	Neo Village サスティナブルな集住環境の提案	石川 貴浩	8
		The 3rd Work Place 一会社でもない、自宅でもない、第3の働く場所～	石川 絵	
		無孤独サービス付き高齢者住宅 高齢者の生活を明るくものに	石曾根 賢太	
		あわみでつなぐ びわこのほとりで新しい自分に出会うためにたどり歩く	井尻 隆夫	
		すきま建築	伊藤 克明	
●		はじまりと駅	伊藤 匠之介	
●	卒	開かれた街の様な大学	伊藤 緑子	16
●		Space	今井 太一	10
		浮かぶ、ほんばり	井本 千秋	
●	卒、AUI近	ハシツメ ～隅田川沿いの長屋町～	岩本 英里	4.5
		都市における明るい高齢化 長く働き、交流し、健康に過ごす		
		こどもとともに遊ぶ生涯学習センター これからの街を考える		
		学ぶ住宅 図書館に住む		
		kawagoe小江GATE ここからはじまる街歩き		
		里山から未来を育む空間 誰もが、「与え、与えられる」		
		憧憬 都市の隙間で遊ぶ	岡田 圭祐	
		岡崎市火葬場		
		Color Palette	沖本 弘樹	
		商店街の再生	奥村 公平	
		図書館に暮らす	奥 祐介	
		フロート・スポーツジム・パーク	尾花 一郎	
		Space for everyone	穂谷 隆一	
		心の参道 気持ち安らぐ場	加登 勇紀	
		住まう人に優しい駅弁庁舎	金森 義孝	
		商店街活性化 歩行者回遊性	川俣 広幸	
●		霞かき町 閉じるから開くへ	北野 貴之	17
		水辺への誘い 生活圏内で潤う普段の生活	岡定 正人	
		人が繋がる家 交流・憩い・暮らし	栗本 晃子	
		都市型子育て 跡地の活用		
		Me		
		Flow Stadium ～流れを変える～	小出 都史也	
●	松	歩く図書館 ～本を受け継ぐ場所～	河内 雅樹	
		FUKUOKA@BUS STOP	古賀 安孝子	14
		アクティブシニア コミュニティ 中高年世代向けの集合住宅案	古賀 亮太郎	
		Creche&Children's Library	小寺 亮	
		KIDS PLAZA HAKATA	後藤 成男	
		中州親子飛行広場	後藤 晃平	
		理想郷 移住定住型住居	今野 数晶	
●		流動場の結晶化によるかたち		
		alloタウン	佐伯 尚哉	18
		音楽造形都市	作永 しずか	
		工場と住宅の境界線 溶けた境界がつくるもの	佐藤 隆昭	
		神龍の杜 龍虎を訪れて	篠原 龍代	
		波止場の緑台 富具崎海岸公園バス停前	渋谷 彩規	
		メロディアフォーレ 音楽と共に過ごす街	杉浦 圭三	
		海が見えるホテル		
		大切に生きる～人と人、人と自然が寄り添う暮らし～ 食物自給のできるエコビレッジを目指して	杉山 龍之介	
		モーニング・グローリー ～Morning Glory Ripple～	鈴木 史麻	
		読書に没頭できる空間 人と人との距離感を緩やかに区切る空間	鈴木 孝行	
		aggressive park next urban planning	藤崎 雅紀	
		木の家に集って暮らす 木と人に囲まれて		
		I'm home 自然に帰る 自分に帰る 週末の住まい	高山 恵梨	
		博多駐車場展示館	竹山 富康	
		MusiConnect 響	多治見 将宏	
		子供音楽堂		
		Bird sensitivity 富士山～見る・感じる・触れる～	田中 亮	
●		The observatory above the clouds 悠久の自然を感じる場所	千田 康洋	
●		YASHIMA ART MUSEUM	瀬木 佳代子	19
		MUSUBU シェアハウスを持つ高齢者の集合住宅		
●	松	メジロの丘	鶴田 彩希	15
		つながり	富山 真奈	
		つながる	中井 輝男	
●	レ	あらいふ ー 生きるための街ー	中里 有	6
		集まれる小、中学校		
		共生型老人福祉施設 ふれあいの里		
		Choice	中村 広明	
●	守	日本橋 町家を凝縮 ～ 廻る・愉しむ・憩う ～	新野 忠昭	
●		Forests of People	西村 樹	13
		つながるうず 趣味交流施設	西村 大河	20
●	卒	Intersection -Fukuoka International Terminal-	西村 俊輝	
		Watarase Eco Museum	納富 友輝	12
		団地難民を救う住宅 坂・階段の多い団地に住む高齢者が快適に生活できる住宅群		
●	商	古都と街を結ぶ -Time Valley-	橋崎 元康	7
		京都杜離宮に寄り添って 杜離宮の魅力を少しでも感じたい	長谷川 貴一	
		MOBILE PALA+SITE Paradise+Site 世界を漂う、僕らの家園	濱田 真紀	
		熱田駅周辺再開発計画 ーこどもの集う場としてー		
		Feel Forest	原田 慎也	
		くつろぎ元氣コミュニティ	原田 誠道	
		森を感じる幼稚園		
		春の小川 スクランブル・ストリート	日吉 天弓	
		公園美術館	平野 雅明	
		根を張り、育つまち コミュニティを醸造する防災庁舎		
		横浜文化観光拠点施設(施設名:横浜SWITCH)を建設する 連続性と回遊性を活かして	藤井 康博	
		senior hotel	藤下 義勝	
		まちの学校 ふれあいの場	藤田 祥宏	
		望郷の森と児童館 受け継がれた伝統文化が景観と共に望郷の景色となる	藤原 史章	
		核家族が集う「集合住宅」という集落づくり	堀本 真貴	
		ドーム型浮島図書館		
		ILC Park 室産産水の里に根付く最先端の研究施設	牧野 洋平	
●	卒	CROSS STATION	松本 彰太	11
		おひさま図書館	眞弓 祐馬	
		つなごの国	水島 太郎	
●		Art Factory Town 町工場+アーティスト→発展的創造の街～cell状濃度分布的街区～	宮田 優子	21
		もう大都会には住まない 高低差のある斜面への建築	武藤 基	
		アートコンプレックス 国際的な文化価値へと繋ぐ	村井 和浩	
		開かれた酒蔵 酒蔵から工場へと変化した今、画一化された表層から脱却する。	村津 知也	
		Reproduction 森林とコミュニティの再生	森田 圭亮	
		籠の中のトリ		
		まなびの場	山内 千歌	
●	卒	AGING IN PLACE	横井 美加子	9
		わきみずの庭 東久留米市六仙公園を地域コミュニティの中心にー	吉田 綾子	
		博多っ子幼稚園 電車との往來と共に・・・	吉永 和紀	
		Park Library	渡邊 龍一	

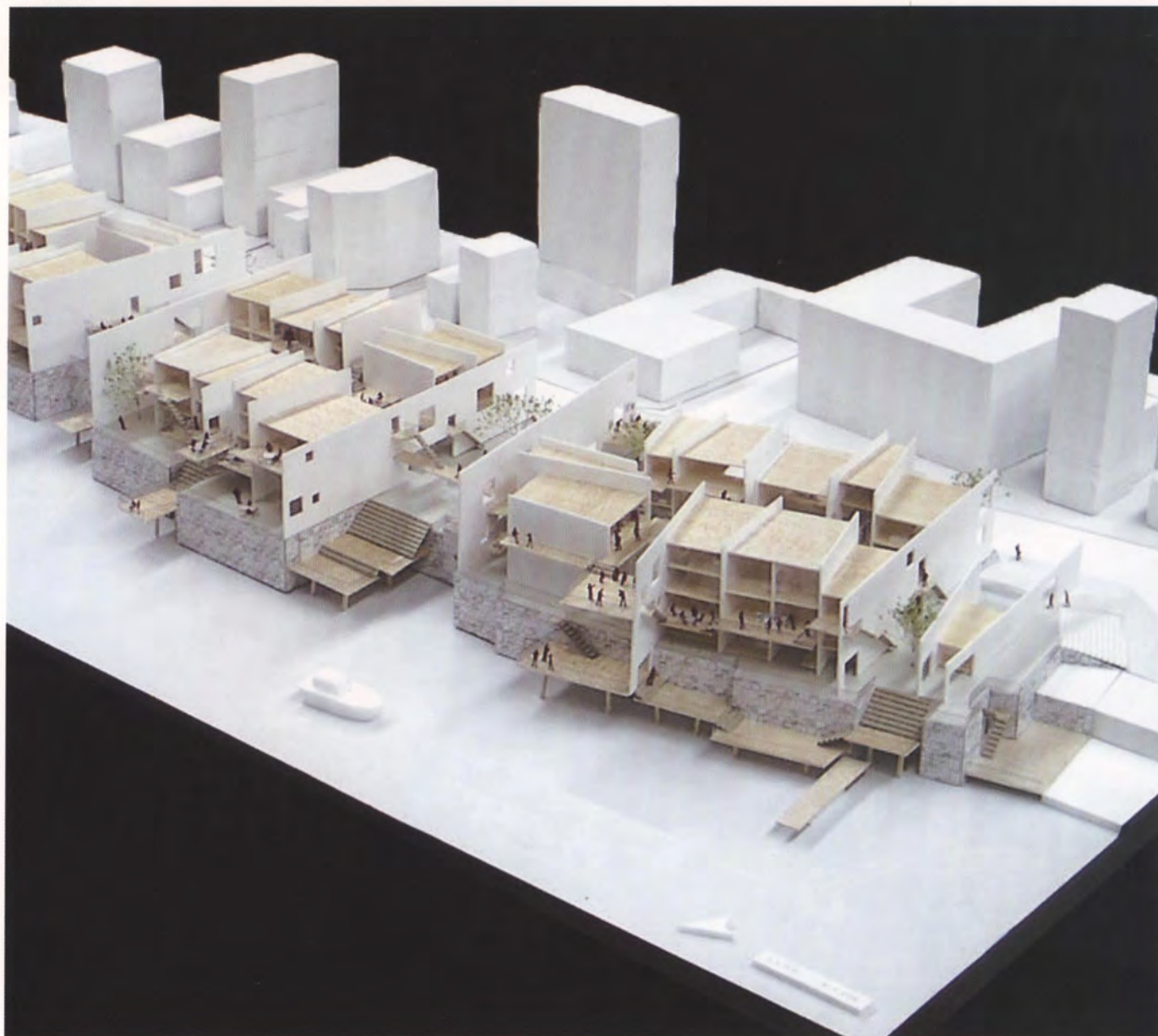
卒:愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科卒業研究賞 AIJ:日本建築学会全国大学・高専卒業設計展示会 大学推薦出展
 近:近代建築別冊 全国大学建築系学科卒業設計優秀作品集 大学推薦掲載 学:学生設計優秀作品展(レモン展) 大学推薦出展
 商:商業施設技術者・団体連合会会長賞 大学推薦 守:愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科守屋賞 松:愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科松本賞

※指名空欄は本人希望により非掲載
 総数 107作品

model & work panel



model



concept

江東区深川の川沿いを計画地とする、集合住宅と宿泊施設の複合施設。江戸時代に栄えた「橋詰空間」と下町特有の「長屋の町割り」を題材にした、現代の立体的な下町空間である。住民が主体性を持ってアクティビティを行う場所として「カワドコ」と「カワユカ」という二つの路地とたまりを積層し、より豊かで積極的なコミュニケーションが生まれるよう計画した。これによってハシツメで暮らす人々だけでなく周辺地域の人や観光客、アーティストなど、様々な人々が訪れ・出会い・共有する、エネルギーあふれる場所となる。ひとりやひと家族で完結することのない、楽しい近所付き合いや出会いに満ちた新しいライフスタイルを提案する。

comment

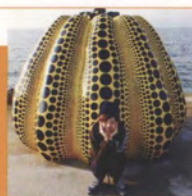
隅田川・永代橋のたもとを舞台に、現代の「ハシツメ」を作ろうという作品。歴史性、地域性、周辺環境といった敷地のコンテクストが丹念に読み込まれ、多用途の混在による公界的な施設プログラム、大壁とカワユカ・カワドコによる長屋・路地的な空間構成の立体化、親水空間による川との関係性の再構成といったデザイン手法が導き出されている。これらのコンテクストを重層的に織り込みながら建築として統合し、深川という特別な場所性を顕在化しながら、この地にふさわしい新しい生のかたちの提案することに成功している。細部までデザインされた一つ一つの空間が、ここに暮らす人々の活動を表情豊かに描き出している点も高く評価できる。

(担当教員：久原 裕)

Misato Iwamoto

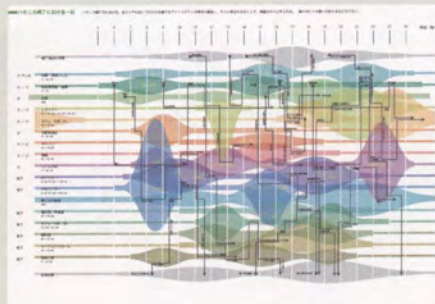
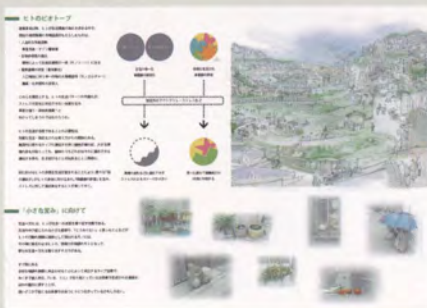
岩本 美里

東京都在住
アルバイト
24 歳



元々美術やインテリアを学んでいましたが、更に建築への知識を深め建築士資格を取得するために通信で学ぶことを選びました。卒業後は建築設計事務所に就職が決まっています。今後は二級、そして一級建築士資格を取得し独立することが目標です。

model & work panel



concept

経済優先の街づくりは、人の生活がトレンドに左右されてしまって、永くは続かない。もっと人々の生活そのものを受け入れて、それを素敵に映し出すような街が必要だと思う。

comment

市場経済は都市を近代化し、益々均一でインテリナショナルな「都市化」に偏っていく。本来、人の営みと生活の延長線上に集落から市場として都市が膨張してきた。しかし今やどこもかしこも再開発の名で消費するだけのショッピングセンター化していく有様である。私達はもっと魂から街を楽しみたい、街で発見したい、街とともに成長したい、そして人生をも演じられる街に居たいのである。ここでは人は演技者であり観客でもあるのだ。自然発生的な街の雑然さには、ひとつひとつにリアルとペルソナの人間のドラマがある。そのドラマの大きな舞台がこの街だ。お買い物の街から人間くさいインタラクションな街、魂を演じられる街は純粋に魅惑的だ！

（担当教員：白濱 力）

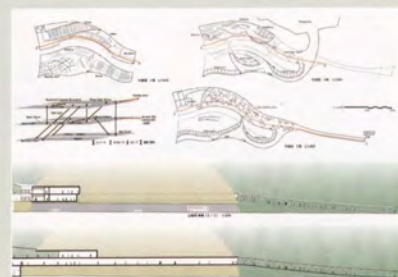
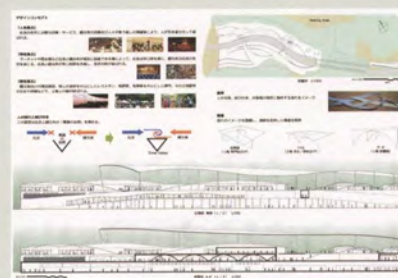
YUNAKAZATO

中里 有
東京都立川市在住
デザイナー



日頃デザインの仕事をしている中で、漠然と自分の感覚に頼ったものでなく、もっと理論的で説得力のある提案をしたいと思っていました。ASUで建築を学んだことで、広い視野に立つてものづくりを行う姿勢を身に付けることができたと思うので、これをベースにもっと良い仕事ができたらと思います。また、様々なPCスキルを体得できた事で表現の幅が広がったと同時に、実際に手を動かす作業の延長上に、頭の中の考えをアウトプットする手掛かりがあるのだということを教えていただきました。今後はまったく未定ですが、出会いを大切に、学んだことを無駄にしないよう、頂いた仕事を丁寧にやっていくのみです。

model & work panel



concept

観光地の住民と観光客は、意識や活動圏において排他的だ。両者が接点を持つことで、もてなしの気持ち、観光客の土地への理解が深まり、相互に気持ちの豊かさ、再訪の意欲が増すはずである。

設定地は歴史的観光地である要塞都市の鎌倉。観光客は要塞都市の中心に集まり、周辺住民との接点はない。その原因は山と海に囲まれた鎌倉の地形構造にある。

古くは要塞都市と周辺地域との往来は鎌倉七口と言われる切通しのみであり、現代でも要塞都市との交通は限られている。この切通しの付近に、住民生活の利便性を提供し観光客との接点を持つ施設を提案する。

この建築によって人が繋がり要塞都市が開かれる。

comment

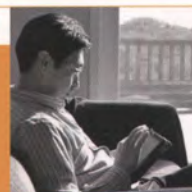
古都鎌倉は幕府が置かれ京都や奈良と並ぶ歴史文化都市だった。それだけに今も気品と気高さを残している。自然地形を利用した要塞都市だったことも起因して計画地の切り通しを境に街の様相と住民意識の乖離が激しい。あたかも西洋の擁壁都市の如く内と外が存在する。現代では山の上には住宅団地が造成され生活圏としては境が希薄になりつつあるが交通拠点としてのこの場は断絶している。この「境」を Valley Junction として、まずは用途ある建築空間で繋いでいき魅力を高める。人を集め人の流れ、行き来を生みさせる。その上で断絶していた人の意識と領域を繋いでいく事で時を超えて街をひとつにしようとするダイナミックで意欲的な提案である。

(担当教員：白濱 力)

Motoyasu Hashizaki

橋崎 元康

神奈川県在住
IT 業界勤務
40 代

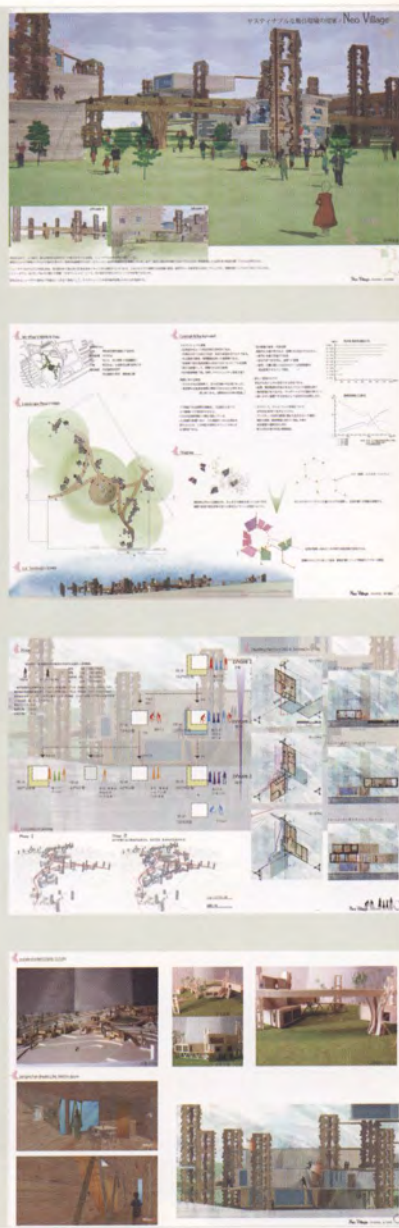
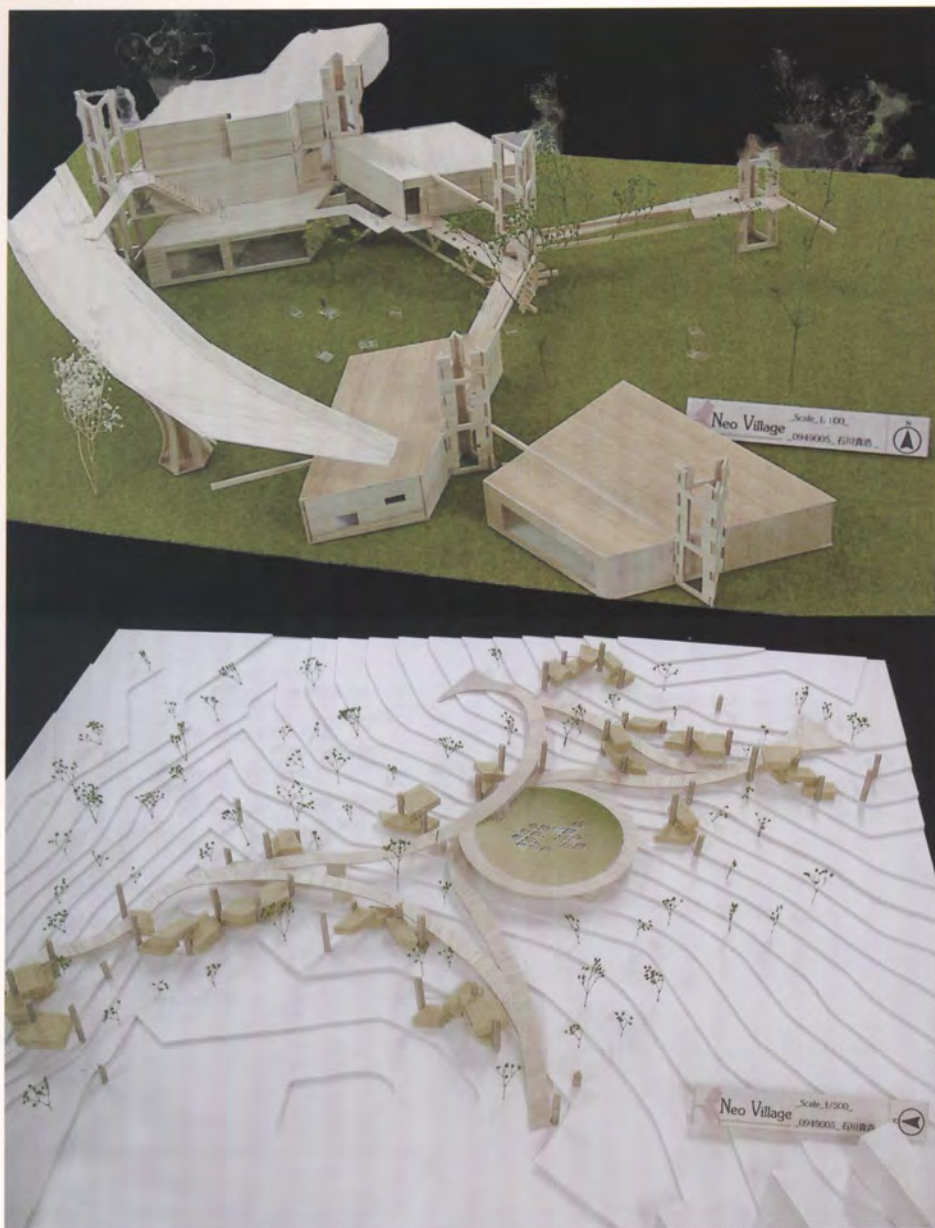


建築士の資格取得を目的に仕事と両立できる大学通信教育を選択しました。しかし、この学校で建築を学ぶうちに造形美や建築の意味などに深く共感していくこととなり、資格取得のみが目的ではなくなりました。

仕事と両立しての2年間はかなりタイトな日々でしたが、今思えば大変充実した時間であったと思います。生涯に渡って何らかの形で建築に関わっていければ良いと願い、まずは当初の目的であった資格取得にチャレンジします。

親切にご指導下さった先生方、ゼミやスクーリングで励まし合った仲間の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

model & work panel



concept

今日のニュータウンでは、過去の役目を終え、建替えにより大規模マンションが新たに作られるなど、転換期を迎えている。

街並みは、それまでの思い出と共に刷新されることになるが、今後、人口減少に歯止めの掛からないのであれば、新規需要による居住者の確保は難しくなると予想される。

ニュータウンのそもそもの居住者は、周辺都市から都心部に仕事を求めてやってきた出稼ぎの人々である。これらの人々は故郷の生活基盤（漁業、林業等の1次産業等）を捨ててやってきた、故郷を無くした人々であるといえる。

「ニュータウン」はこれらの人々の新たな故郷、「ネオヴィレッジ」として、その役目を変化させていくことが必要ではないか。

郊外であるニュータウン地区に今後集まって住もう意味として、ネオヴィレッジ（未来の集住形態）の在り方を提案する。

comment

大都市での郊外型ニュータウンの衰退が著しいが、短期間に成長モデルを規範としてつくりあげられた団地は真にリピーター出来ない。その生活や環境、コミュニティといった都市生活の価値を世代間で相続できるサスティナブル型の新しいコミュニティの有り方である。「ネオヴィレッジ構想」はまさしく新・村型のコミュニティ創造を形成しようとする試みとなるであろう。今日のような単純なマンションの立て替えに頼らない縮小、増殖が容易なこの提案は、失いかけた団地住まいの有り方に新たに次世代の希望を与えるはずである。

（担当教員：白濱 力）

Takahirolshikawa

石川 貴浩

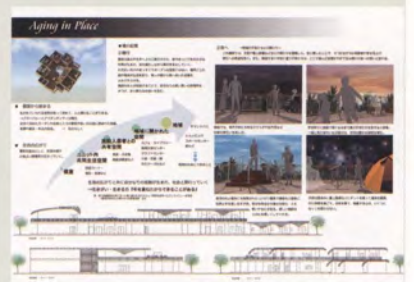
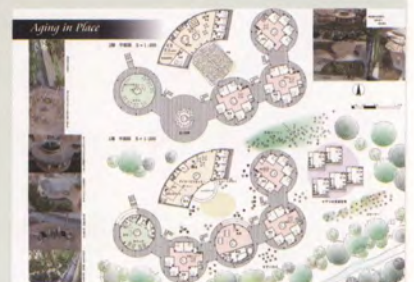
埼玉県さいたま市在住
大規模修繕 積算
26歳



入社後、建築の知識不足を補うために、また、資格取得を考えて入学しました。

今後は建築に限らず、モノづくり、コンベンなどに挑戦したいと思います。

model & work panel



concept

少子高齢化がすすむ我が国において、高齢者のための暮らし方や施設のあり方を考えることは、日本の未来を考えることにつながる。介護や医療面での安心をベースとしつつ、人と人が寄り添い共に支えあい、心をつないで幸せに暮らしていくために、建築で何が出来るか。たくさん的高齢者を収容するハコモノではなく、多様な高齢者や介護者のニーズに応え、世代を超えた人々の交流をうむ。自然が織りなす魅力を身近に感じ、物理的のみならず意識的なバリアを排除していく施設。日常の生活の営みの中で、生きる喜びを見いだせる施設をめざした。人間としての尊厳を保ち、住み慣れたまちで最期までその人らしく穏やかに暮らしていく。それこそが豊かな人生だと考える。

comment

超高齢化社会が目前に迫る現社会の上で、高齢者対応施設を研究することはとても重要な事である。

本プログラムは、ケアハウス、ケア付き賃貸住宅、デイサービスセンター、ショートステイなどの複合施設である。

木質の屋根材を巧みにトッブライトを織り交ぜながらの意匠計画は、外部の柔らかなファサードが地域に対し自然に溶け込み、かつ内部に穏やかな光を取り入れるであろう事が容易に想像できる。本質は内部で暮らす高齢者がいかに豊かな人生を送ることが重要であり、設計者は奇をてらった設計ではなく、それらを充分に理解した上で計画されている。実社会においても、このように人にも地域にも優しい建築ができる事を願うものである。

(担当教員：濱田 修)

Mikako Yokoi

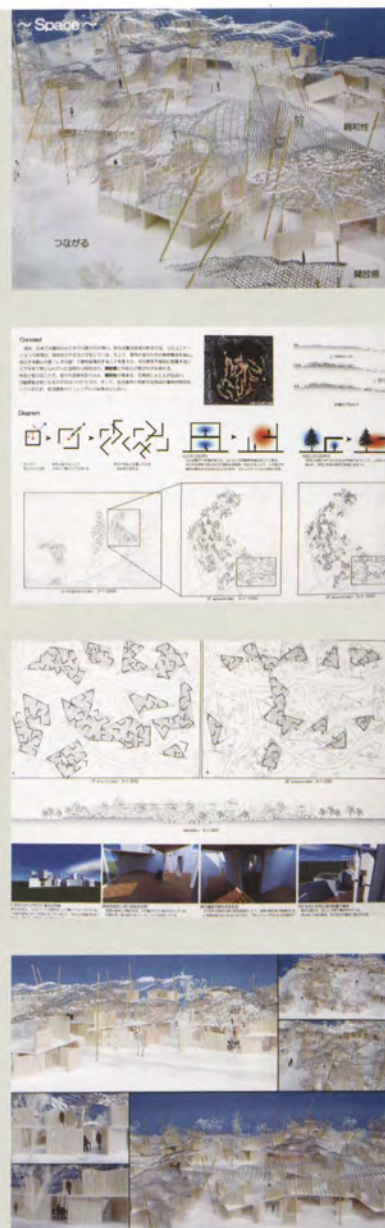
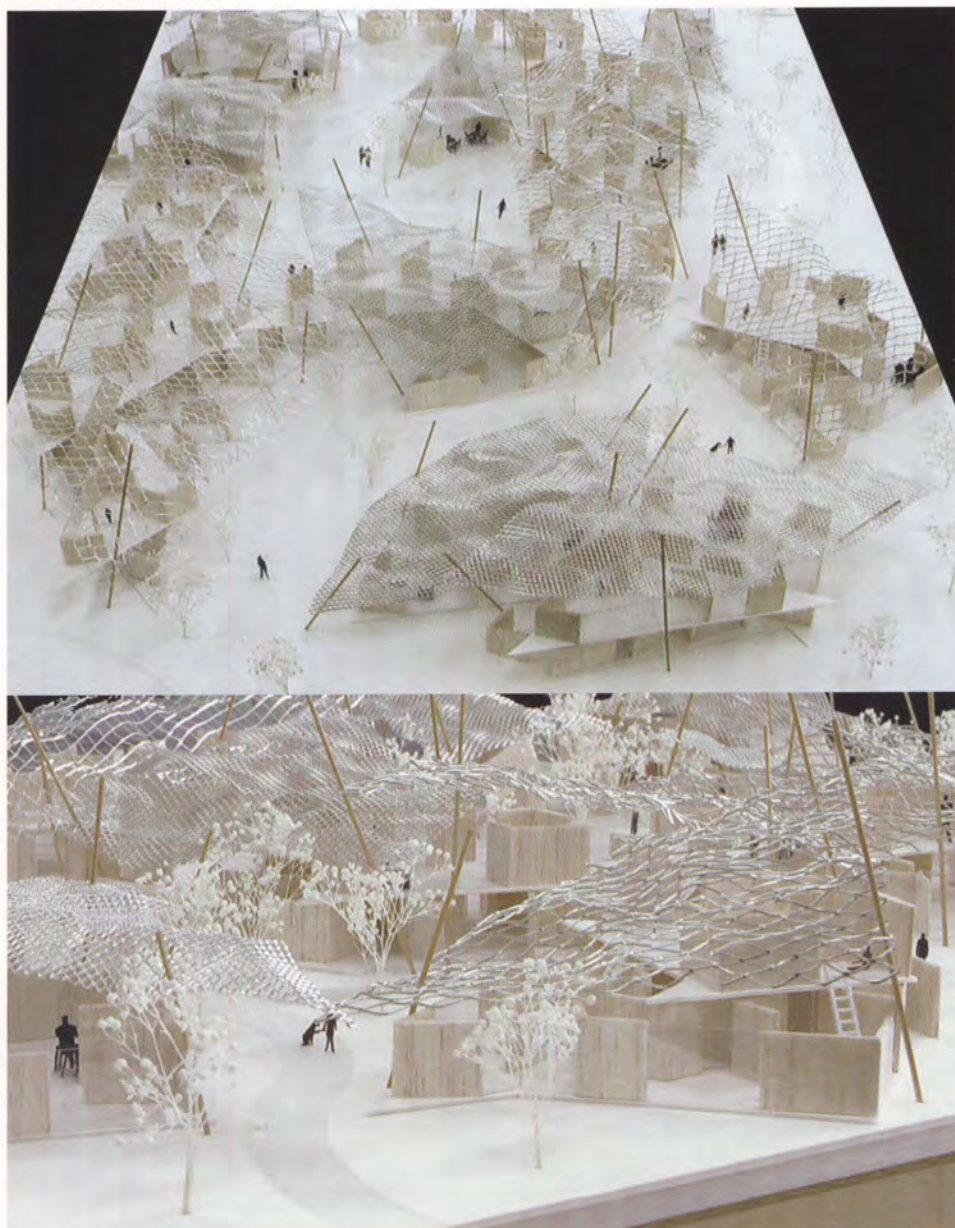
横井 美加子

愛知県名古屋市在住
会社経理事務

数年前、主人の仕事を手伝うことになり、異業種から建築の世界へ飛び込みました。仕事をしていく上で、二級建築士の資格を取得したいという思いで入学しました。実際、課題と仕事と家事をこなすのは、想像以上にとても大変な2年間でしたが、先生方やスクーリングで出会った仲間や家族に支えられながら、大きな壁を乗り越えた今、学ぶことの楽しさや充実感がいっぱいです。

学んだことを生かして、これからもお客様のために心地よい家を建てていけるよう頑張っていきたいと思っています。

model & work panel



concept

現在日本では、建物の中と外ではつながりが薄い。例えば集合住宅では、コミュニケーションの希薄化、設置性の不足などが生じている。そこで、建物のつくり方や既存概念を崩し、自立する最小の壁（し字の壁）を不規則に配置することを考えた。その壁を不規則に配置することで今まで閉じられていた空間から解放され、開放感と外部とのつながりが生まれる。外部とつながることで、周りの環境を取り込み、親和性が高まる。日常的に人と人とが出会い、つながる空間となるのではないだろうか。

そして、名古屋市の牧野が池周辺建築物が老朽化しておりリニューアルの出発点にしたい。

comment

建築を考えることを通じて「心」や「人間性」の豊かさにアプローチしようとしている作品。街のなかで一番大事なものはなにか考えようとしている。つまり、この作品の見所は既存概念の枠組みから離脱することによって、今まで見えにくかった価値が見えてくることということを視覚化していることにあるのではないか。

(担当教員：宮武 仁)

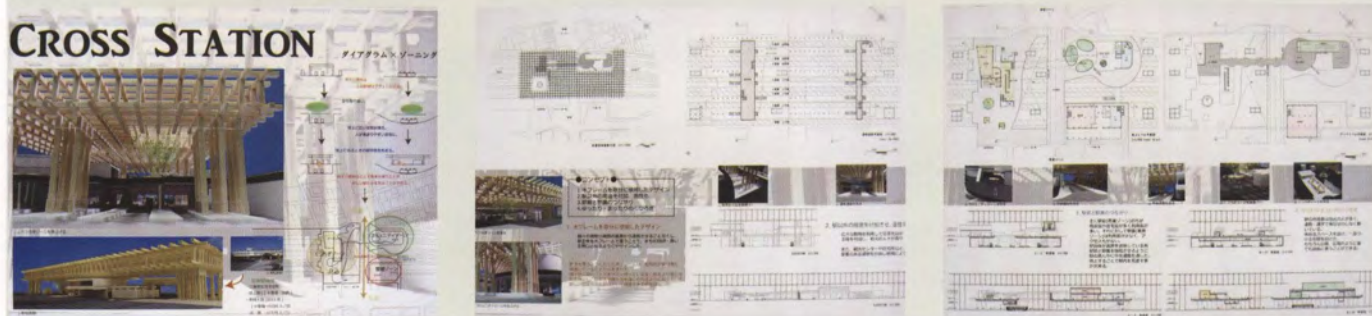
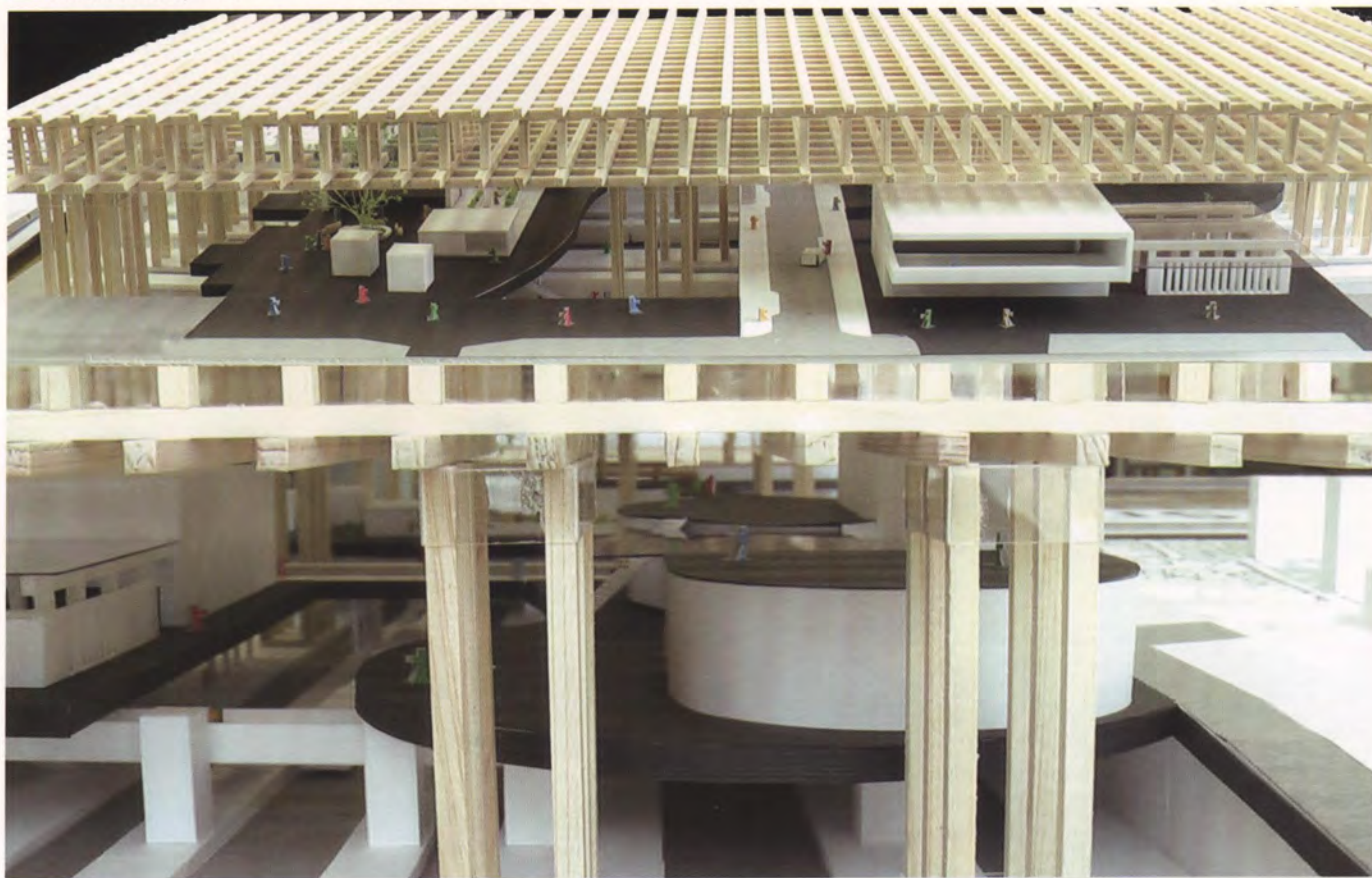
Taichilmai

今井 太一

岐阜県高山市在住
併修生（東海工業専門学校金山校）
21 歳

今まで建築について学んできましたが、造形のことを学びたいと思い、大学の通信教育を受けることにしました。これから社会に出て、建築に関することを学んでいきたいです。

model & work panel



concept

駅は多くの人が利用する。もっと機能的で、なおかつ幻術的であるべきである。それこそ、街のシンボルの1つとして数えられるくらいに。

ぜひ松阪駅には松阪のシンボルとして、地元の人々が少しでも自慢できる駅舎になって欲しいと計画した。

comment

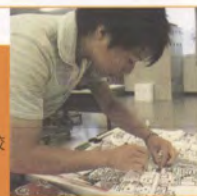
都心では駅内の開発が続いている。商業的ポテンシャルが見直された結果である。しかし、地方では駅前商店街はシャッターが降ろされたまま衰退して復活の兆しはない。ところで多くの地方の駅は地上に存在し都市を分断したままである。この計画では、大胆にも線路と駅を地下化し、地上を市民に解放した。中央には車道を貫通させ、その周囲に3つの性格の異なるゾーンがつくられ、市民サービスにより人が集まる仕掛けが仕組まれた。そして、駅全体の上部には地域産業である木の製材によるフレームが象徴的に浮かべられている。学生らしい大胆な発想と造形的対比によってシンプルさと複雑さが同時に存在する、今後の駅のあり方を示す提案となった。

(担当教員：丹羽 哲矢)

Shota Matsumoto

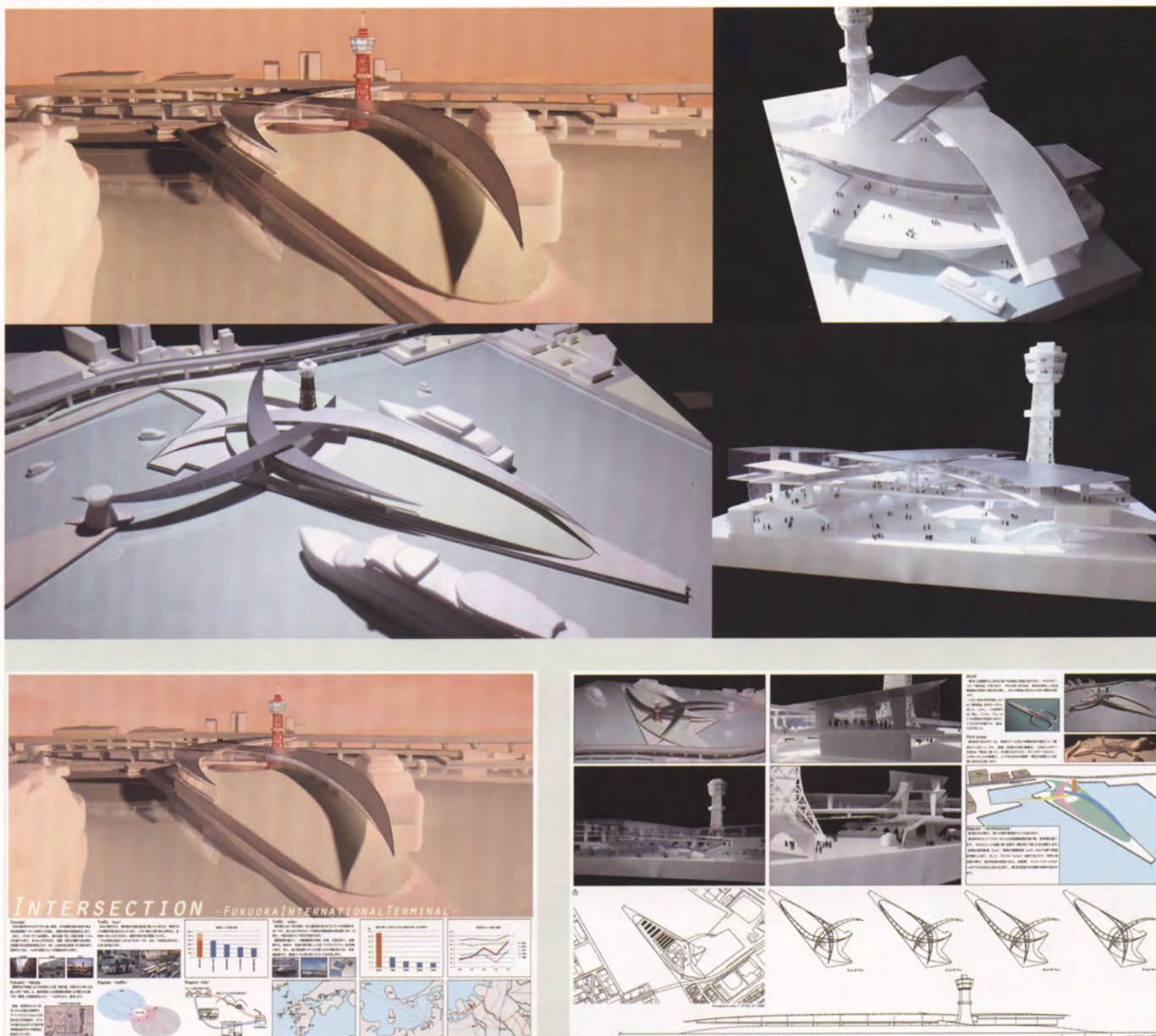
松本 彰太

三重県松阪市在住
併修生（東海工業専門学校
金山校）
22歳



今までの授業では四角という「形」を使って設計しましたが、通信教育部では形を「造る」ところから学ぶことが出来ました。この2年で学んだことは、今後の設計にずっと生かされていくと思います。

model & work panel



concept

海の交通「船」と陸の交通「バス」が交差する事で、様々な人々が行きかう、親水空間を作り上げる。

comment

日本屈指のアクセス数を誇る博多港にフェリーターミナルを計画した本案は、福岡伝統の博多鯨をモチーフとしたデザインが、新たなランドマークとなることを予感させる。敷地内にある内藤多仲の博多ポートタワーを保存するによる垂直的なランドマーク性と、本案の水平的なランドマーク性が心地よく相俟っている。単なる交通機関施設としてではなく、中央に提案された海辺を周遊できる浸水公園が、人々に親しまれる空間となるであろう。数多くのスタディを重ねることによって作り出した絶妙なバランスのデザインが秀逸な作品である。

(担当教員：伊藤 潤一)

Yura Notomi

納富 友羅

福岡県福岡市在住
併修生（麻生建築&デザイン
専門学校）
4月から建築設計事務所勤務
24歳



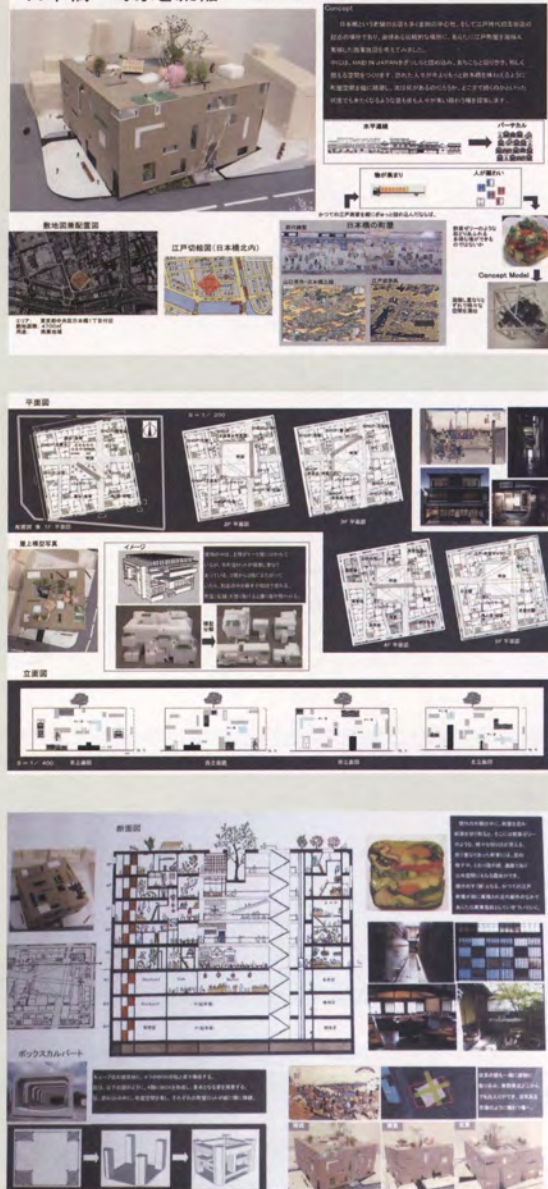
将来は、一流の建築家として、福岡を中心に活躍したいと思っています。

「守屋賞」は、2009年度に創設されました。本学科の方針を形づくった守屋弓男教授に因むもので、社会人が自ら仕事や日常で、経験をいかした眼差しをとおして社会の問題を捉え、建築の造形によってそれに応えるという、本学で学ぶ本質が際立った卒業研究に授与するものです。

model & work panel



日本橋 町家を凝縮 ～ 廻る・愉しむ・憩う～



concept

日本橋という老舗のお店も多く金融の中心、江戸時代旧五街道の起点の場所であり、由緒ある伝統的な場所にあらたに江戸町家を凝縮＆集積した商業施設をつくることを考えてみました。

中には、MAID IN JAPAN をぎっしりと詰め込み、あちこちと廻り歩き、愉しく憩える空間をつくります。訪れた人々が今よりもっと日本橋を味わえるように町屋空間を積層し、次は何があるんだろうとか、どこまで続くのかといった、何度でも来たくなるような昼も夜も自然に人々が集い賑わう場を提案します。

comment

かつて日本橋界隈は呉服屋や問屋街として町家を形成して栄えていた。今や近代的な高層ビル街となり、江戸時代の風情ある佇まいを見る事はできない。室町地区の一角に現代の町家街としてバーチカル（縦方向）に集積させた案である。かつては2階建の平面的で賑わっていた街区空間で、今度は上へ集積度を高め凝縮された空間により賑わいと楽しさを蘇らせる事に挑戦したのだ。あたかも卵焼きやかんぴょう、キュウリや沢庵をのり巻き型に圧縮したように詰め込んである。このアジアな面白さと日本橋、町家の品格とが上手にブレンドし建築として空間化できたことに、蟻塚を作るがごとく人間の生命力の高さを感じる作品である。

(担当教員：白濱 力)

KozueNishimura

西村 梢

香港在住（ASU 開始時は、東京在住）
主婦
30代

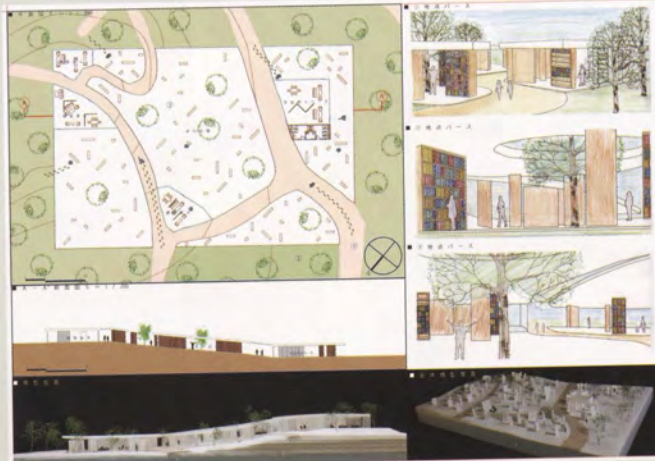


以前、住宅展示場で内装関係の仕事をしていたとき、設計にも興味を持つようになり建築資格を取得するため、愛産大に入学しました。夫の転勤で、2年間休学しましたが、やはり卒業したいと思い勉強を再開しました。

苦戦の連続でもう駄目かなと思うときもありましたが、なんとか卒業までたどりつけたのは先生方のご指導やゼミ、スクーリングでの出会いが大きく、皆さんにとっても感謝しています。

卒業後は2級建築士の取得をめざしがんびりたいと思います。

model & work panel



concept

A k i k o K o g a

古賀 安季子

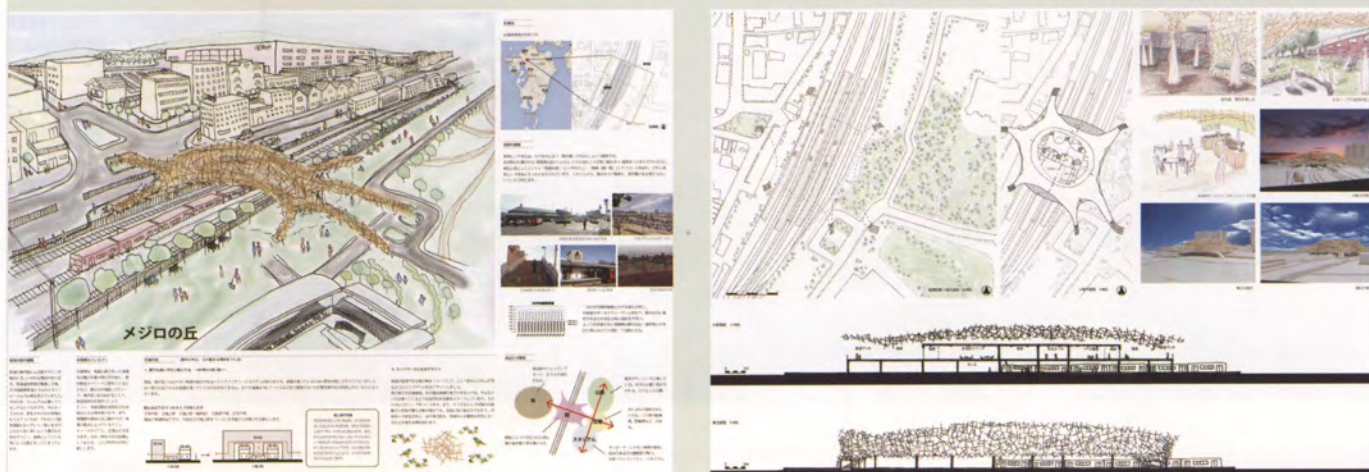
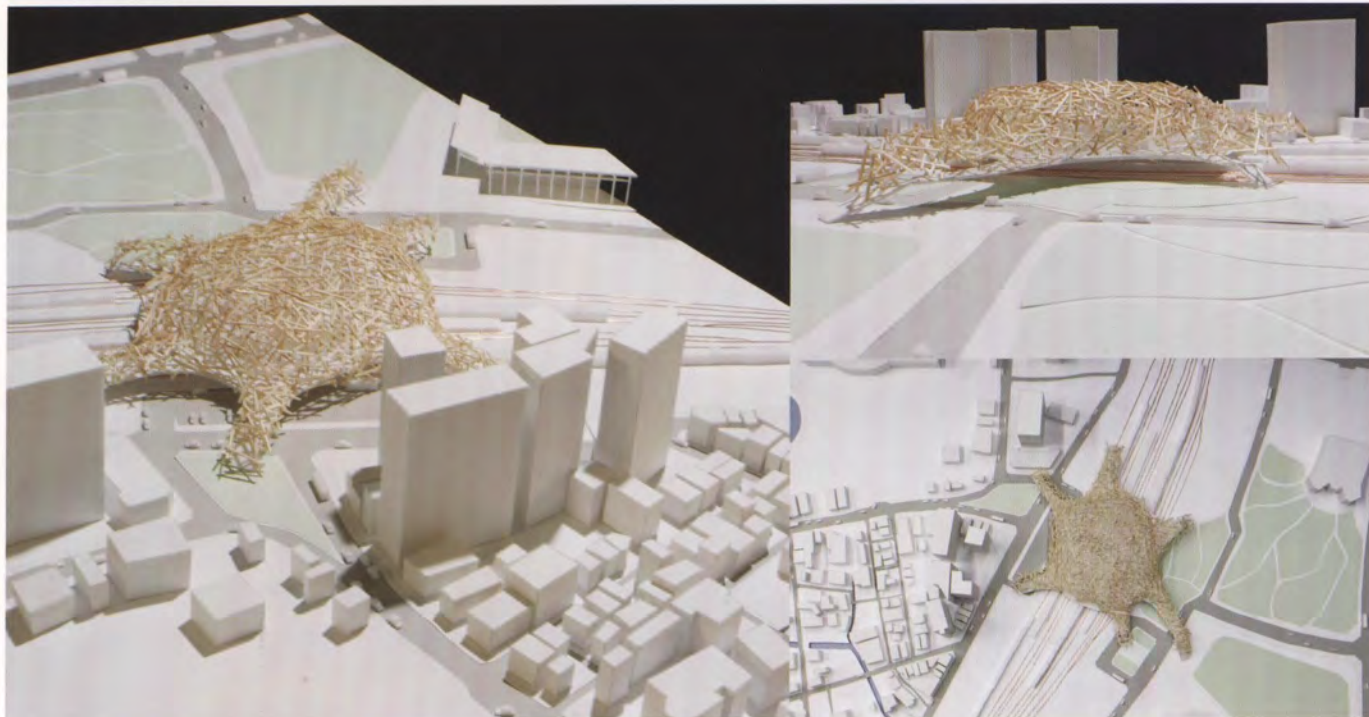
福岡県在住
併修生（麻生建築&デザイン専門学校）
20代

comment

(担当教員：伊藤 潤一)

併修校（専門学校と大学とのダブルスクール）からの卒業生の卒業研究には、若い世代ならではのひらめきを感じさせる感性豊かな作品が多く見られます。その中で特に印象深かったこの作品に今年度の「松本賞」を授与しました。

model & work panel



concept

佐賀県の鳥栖駅

comment

サッカー「サガン鳥栖」のホームグラウンドである鳥栖のサッカースタジアムにアクセスする駅の提案である。鳥栖の名前の由来である「鳥（メジロ）の栖（すみか）」をイメージしてデザインされている。日々の駅の乗降客数調査や、駅についての研究などが提案に説得力を与えている。多目的のホールなどを内包させることで、駅を地域コミュニティ形成の場として再構築しようと試みている点が興味深い。鳥栖の新たなランドマークとなる本計画のデザインには、街を活性化できる魅力を孕んでいる。

(担当教員：伊藤 潤一)

Saki Tsuruda

鶴田 彩希

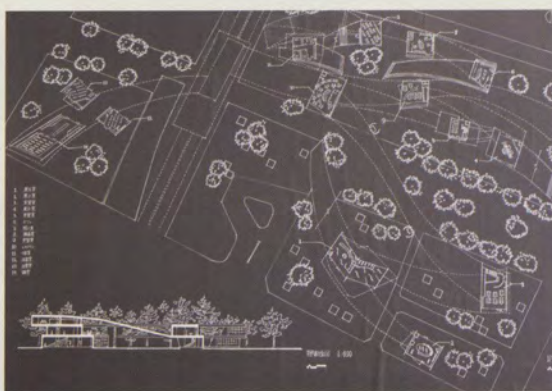
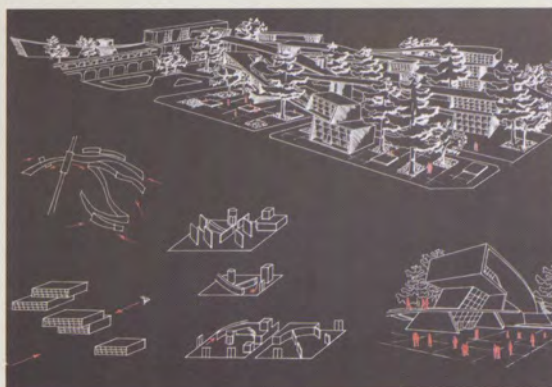
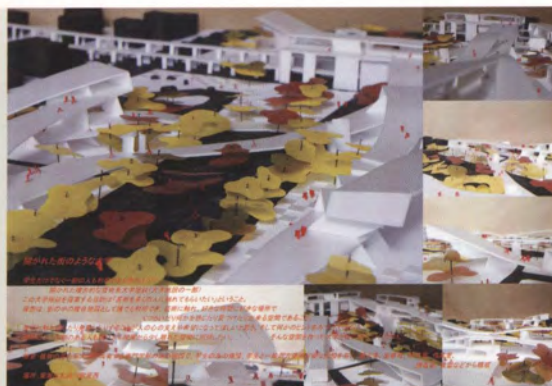
福岡県在住
併修生（麻生建築&デザイン専門学校）
22歳



専門学校へ通いながら学士も取れるということで、愛産大の通信を選択しました。4月から夢であった施工管理職として社会に出ます。

開かれた街のような大学

model & work panel



concept

学生だけでなく一般の人でも利用できる、複数の芸術系の大学が共有する複合的な学施設の一部
展示室・作業室・研究室・図書室・講義室などの施設
コンセプト：「芸術を多くの人に触れてもらいたい」ということを目的に提案します。理想は街の中の複合施設として誰でも自由に利用でき、芸術に触れ、好きな場所好きな時間に何かを感じたり見つけたり出来る空間であること。芸術に触れ感じたり発見したりすることが、人の心の支えや希望になってほしいと思う。そして何かのヒントを見つけてほしい。時間や心に余裕がある人も無い人も、現実から少し離れた空間へ招待したい。そんな空間を持った施設を街のようにつくりたいと考えました。

comment

芸術には目に見えない力がある。それは明確には解らないが、何かしら人の心に働きかけてくる。しかし普段私たちは、それに気づかずに過ごしている様に見える。
芸術家を目指す学生達や、駅を行き来する人達がこの街で出会い、芸術の持つ力を感じるこののできる場所。人々が日常の中で、芸術に触れられる場所の提案である。芸術系大学の一部機能を街の機能と融合させ、芸術の持つ力を誰もが身近に感じられる新しい空間を作り出そうとしている。

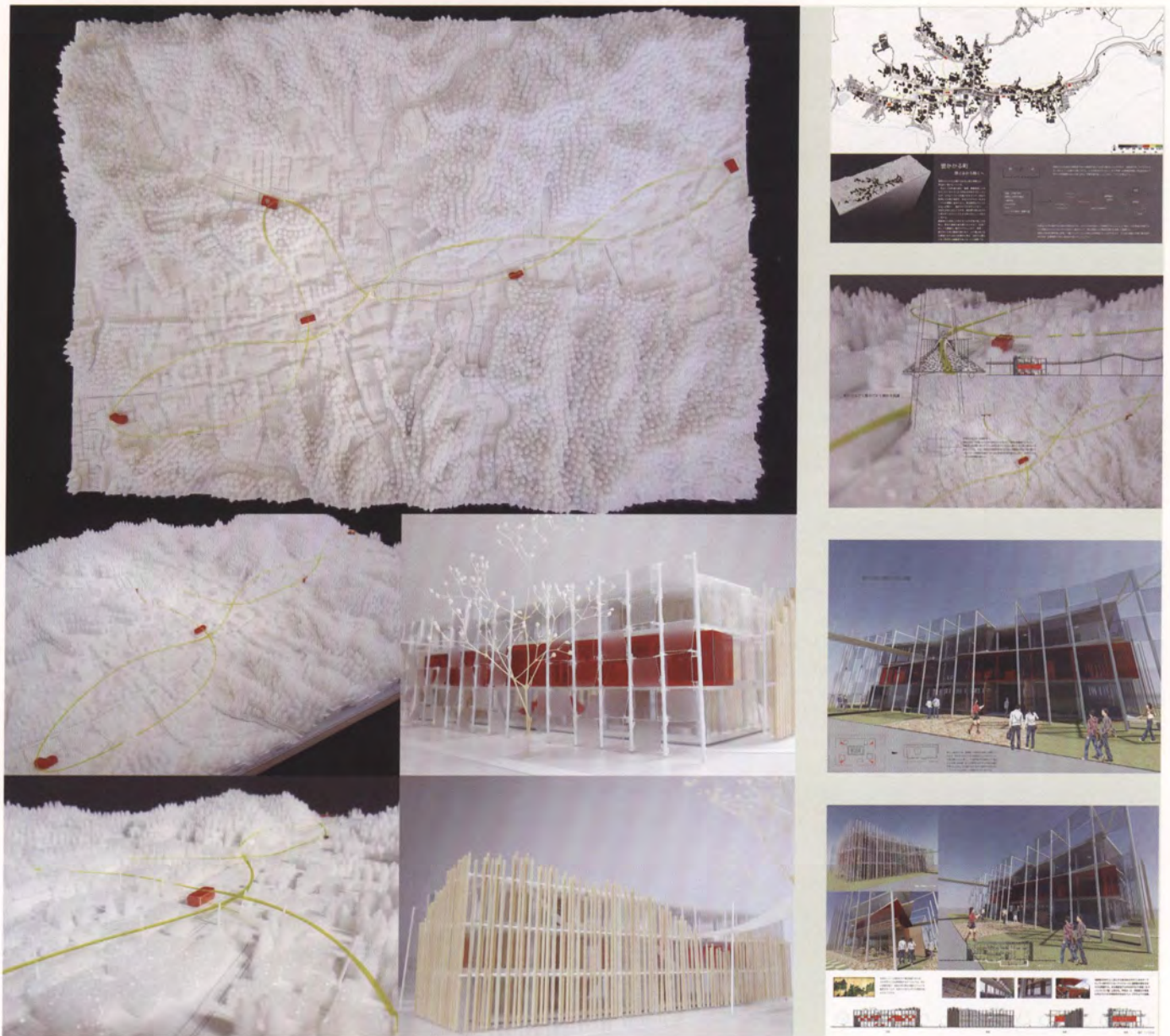
(担当教員：木下 太)

Midorikolito

伊藤 緑子
愛知県在住



model & work panel



concept

標高 800 m に位置する山岳仏都の高野山は、衰退の一途を辿っている。町は町屋の保存・修復で活性化を図ろうとしているが、せいぜい 1200 年続く町を明治の時間に巻き戻すだけで他地域のまちづくりと変わらない。

衰退原因はひとつに社会への関わり・働きかけがなおざりになり、寺院も自由に出入りできず、築地塀で囲われた中の様子はうかがうこともままならないことである。

修験途中で高野山の地を見つけた空海が開いた当時は思考も建築も最先端で、それをもって社会に対して積極的に働きかけたことから、受け継がれた要素を発信・働きかける現代建築の場を設け、その場は狭小な住環境にある住民の居場所を含み、点在する場をつなぐ現代的な修験道を設けることを提案する。

comment

複数年に渉って取り組んで制作された通信教育ならではの作品。設計の三要素と言われる「発想」「展開」「表現」それぞれがバランス良く熟成されている。

さらに言えば、自身の生活感覚や体験から抽出される何物かが色濃く滲み出ているように思える。人生経験に裏打ちされた作品だと言ってよい。

(担当教員：宮武 仁)

Takayuki Kitano

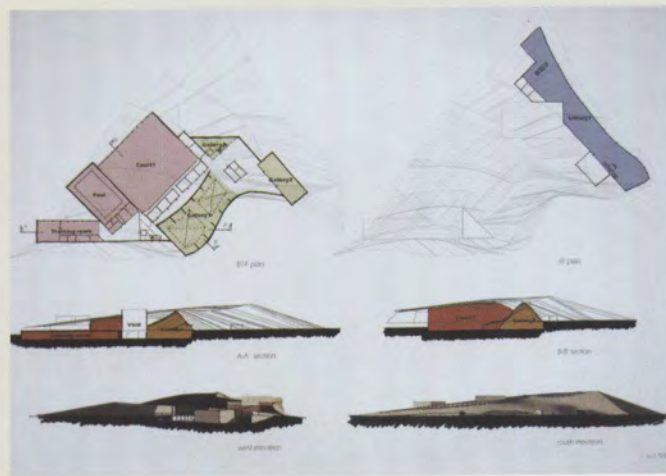
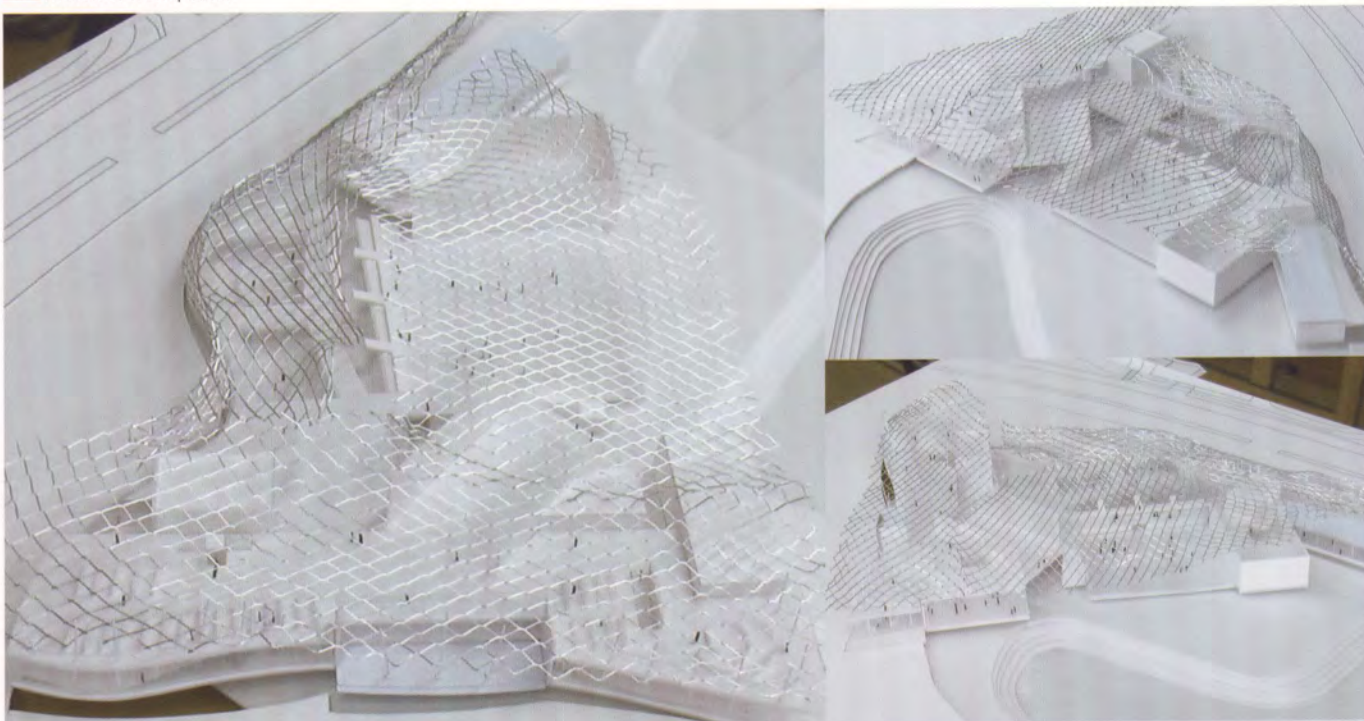
北野 貴之

大阪府在住
45 歳



建築やインテリア、デザインについてはもともと好きな分野であったが、貸しビル業に従事することになり、建物修繕やリフォーム・コンバージョン等を通じて建築士と関わりを持ち、自分もこうした仕事がしたいと思ったのが始まり。愛知産業大学を選んだ当時は、体系的に学べて資格取得を目的としていたが、実際には加えて造形学部ゆえのデザインに重点を置いた教育を受けることが思いがけずできた。すでに私の年齢では建築士としての仕事は望めないが、何かしらの関わりを持った仕事で人生の後半戦に挑みたい。

model & work panel



concept

平和公園と東山公園の結節点。そこに二つの森を繋ぎ、様々なアクティビティを促す場としてスポーツセンター、図書館、ギャラリーを内包した建築をつくる。

comment

名古屋は比較的大きな緑地が確保された大都市である。中でも東部丘陵地域は二つの大きな公園が市民の憩いの場になっている。その東山公園と平和公園は幹線道路の東山通により分断され、その分断地には市民のための諸施設が配置されているが景観上の配慮は希薄である。この計画では分断された公園をつなぐように人工的な地形とも言える建築を配置して公園をつなぐと共に、それぞれ独立して建ち意匠上の関連性が希薄だった体育施設と図書館に加え美術館を複合化し、その地形内に融合させている。市民の多様な行動を迎え入れ、更に異種交流を促すような仕掛けが大胆な地形の中に配された計画は痛快である。

(担当教員：丹羽 哲矢)

Naoya Saeki

佐伯 尚哉

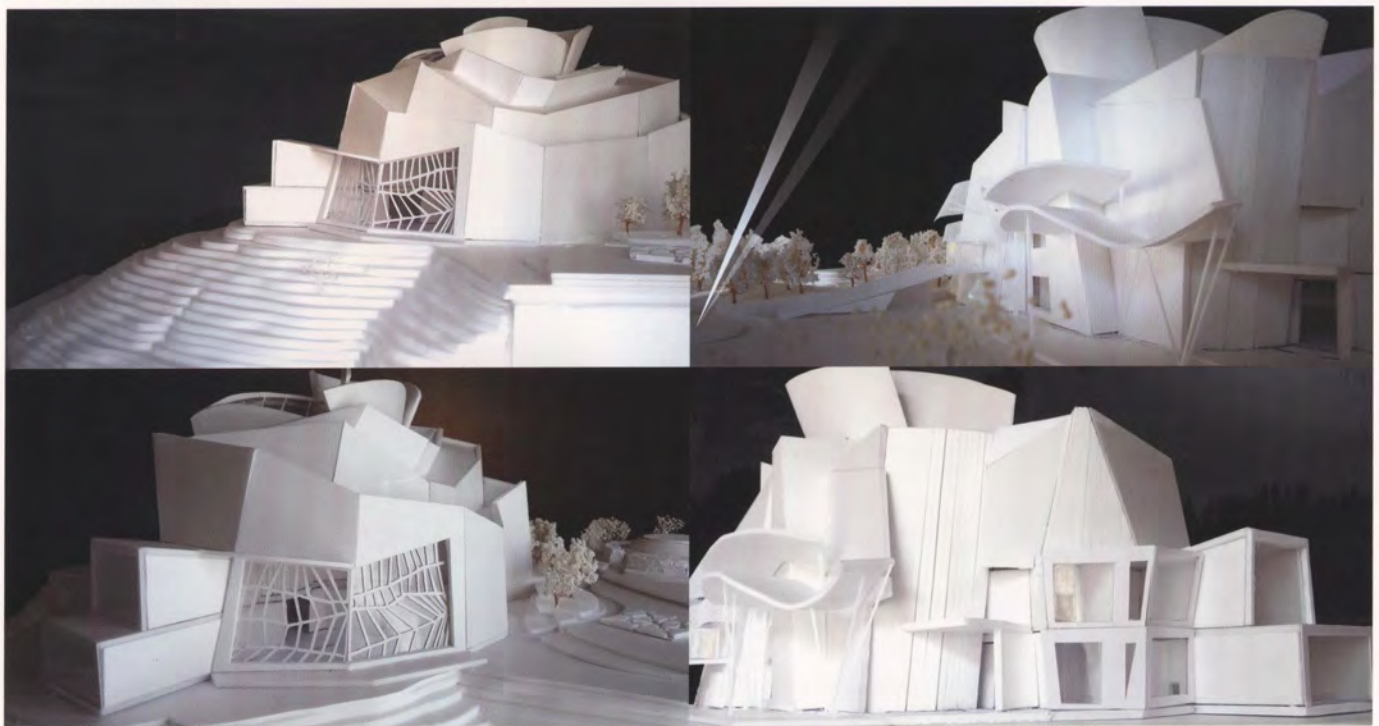
愛知県名古屋市在住
併修生（東海工業専門学校
金山校）
26歳



他大学の土木科に在籍していましたが、建築への興味や憧れを捨てきれず、学び、仕事にしたいという思いから東海工業専門学校に入り、編入生という形で愛知産業大学でお世話になりました。今後は在学中に学んだことを活かし、店舗設計の仕事をする予定です。最終的には一級建築士の資格を取得し自分の事務所を持てればと思っています。卒業後も引き続き勉強です。

YASHIMA ART MUSEUM

model & work panel



concept

敷地は香川県屋島。四季を通しての展望が瀬戸内随一と呼ばれるほど、かつては四国の代表的な観光地であったが瀬戸大橋開通時の賑わいを最後に近年では廃墟が目立ってきている。

そこで、この景観 / 庵治石と呼ばれる地域で採れる良質の花崗岩 / 瀬戸内海の美味しい食 / 地域由来のアーティストの作品をコンセプトに、美術館を計画して地域活性化や国際的な情報発信が図れるような計画とする。

主なアーティストとしてはこの地にゆかりのある画家 / 彫刻家 イサム・ノグチや猪熊弦一郎などの作品を中心に展示棟と庭園にて作品を散策しながら鑑賞できる空間とし、多くのイベントや人々が交流できるプログラムも運営する。

comment

香川県屋島の魅力を再確認、再発見するアートのスペースの計画である。

巨大な庵治石を荒々しく削り出した様な 造形、空間・・・

瀬戸内海の四季を感じる休憩スペース、レストラン、彫刻庭園・・・

このアートのスペースを訪れ、時を過ごす事でいつの間にか屋島の素晴らしさを体感する。

設計プロセスではCADやCGだけに頼らず、

自分が思い描く複雑な造形をイメージしながらエスキースやパースを描き、

模型を組立て、何度も検証しながら創り上げていく設計手法は、

とても良い経験になったのではないかと思います。

(担当教員：瀧澤 三男)

Kayoko Tsuduki

續木 佳代子

東京都在住
建設会社勤務
30代

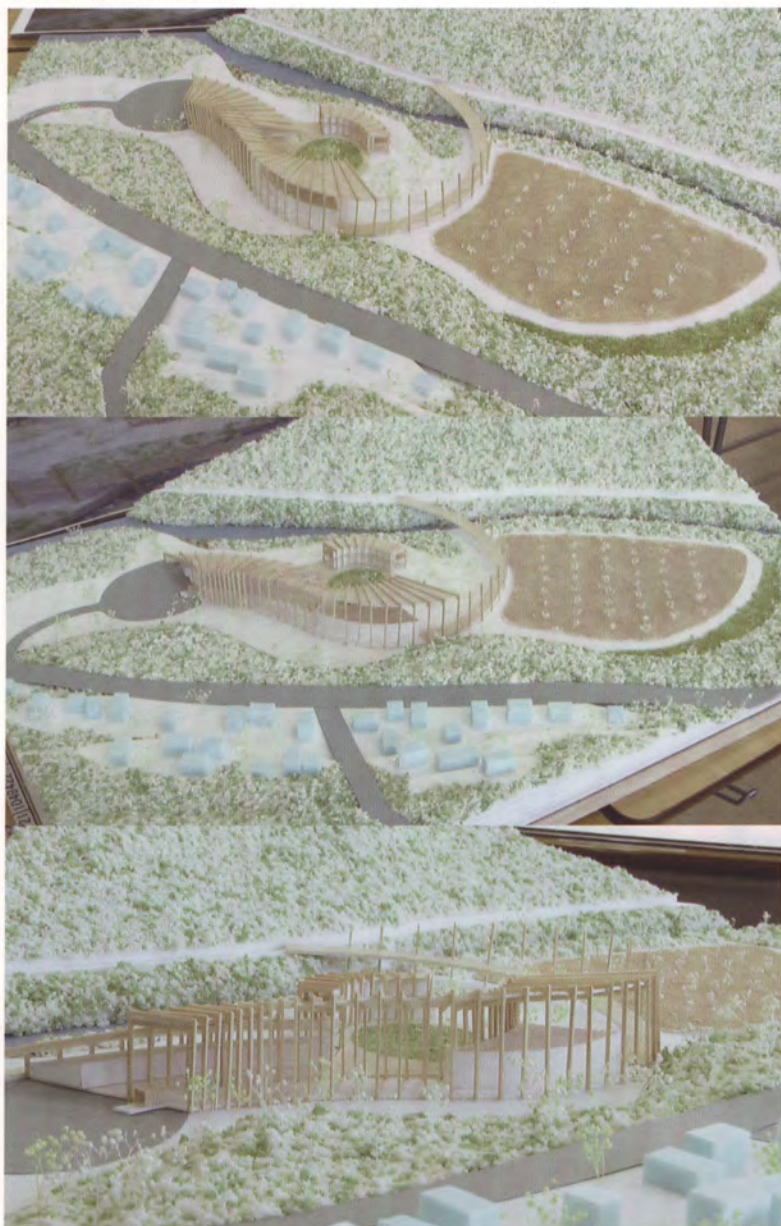


学生のときは、絵画を専攻していたので建築についてもアートや造形としての見方で興味を持っていました。

仕事で建築に関わる中、構造的な考え、専門知識など不足している事を感じ知識を深めて、仕事でより深い提案ができるようになりたいと考え仕事をしながら学べる通信を選びました。

最初は仕事と学校と両立できるか不安がありましたが学ぶ / 造る楽しさを、実感できる充実した2年間だったと思います。

model & work panel



Forests of People

(山を歩こう
そして
無意識な気づきを得よう)



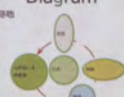
project area

長野県本郷市本郷町 本郷山林高松野地



本郷市は森林が広がる山間部で、本郷町は本郷市に隣接する。この地域は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。

Diagram



本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。



本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。

Concept

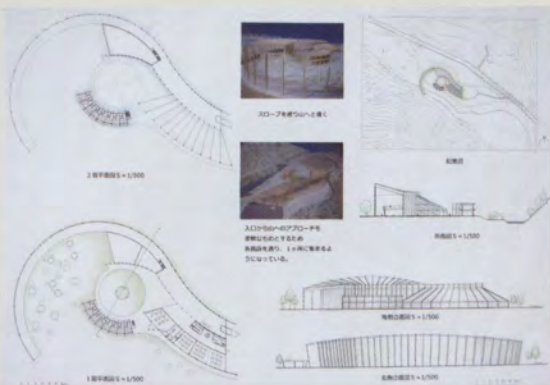
本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。

Concept

本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。

Concept

本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷市は、森林が豊かで、自然が美しい。本郷町は、森林が豊かで、自然が美しい。



concept

人が人を育て、生きていく様に、木々も人の手が必要である。森林（もり）から私たち人間は多くの恩恵を受けている。木の文化を持つ日本の森林は人々に住環境を提供し保護を与えてくれる。そして、多様な生物の住居となる。

今一度「森林との共生」を林業と共に再考する事で新しい森林の価値を再認識できる場所の提案をする。私たち現代人は頭の中で考え作業を行う事が多い。しかし、それには限界がある。実際に行動し、体験する事が重要である。人間を突き動かしているものは、意識ではなく無意識なのである。無意識とは、感性、感情、感動、つまり、人間の能力なのではないだろうか。その無意識を取り戻すために「森を歩こう」。

comment

日本面積の多くは森林である。森林は私達に多くの恩恵をもたらしてきた。しかし林業の実態は厳しいものがある。この作品は今一度林業を通して森林を見直し、森林の持つ力を実感し、後世に伝えることのできる空間を創りだそうとしている。建物から自然に林道に向かうスロープが、建築空間と森林とを緩やかにつなげ、私たちを森林へと誘ってくれる。林業を知り、体験し森と共に過ごすことで、森林持つ大きな力を実感させる為のプロセスを上手く表現している。

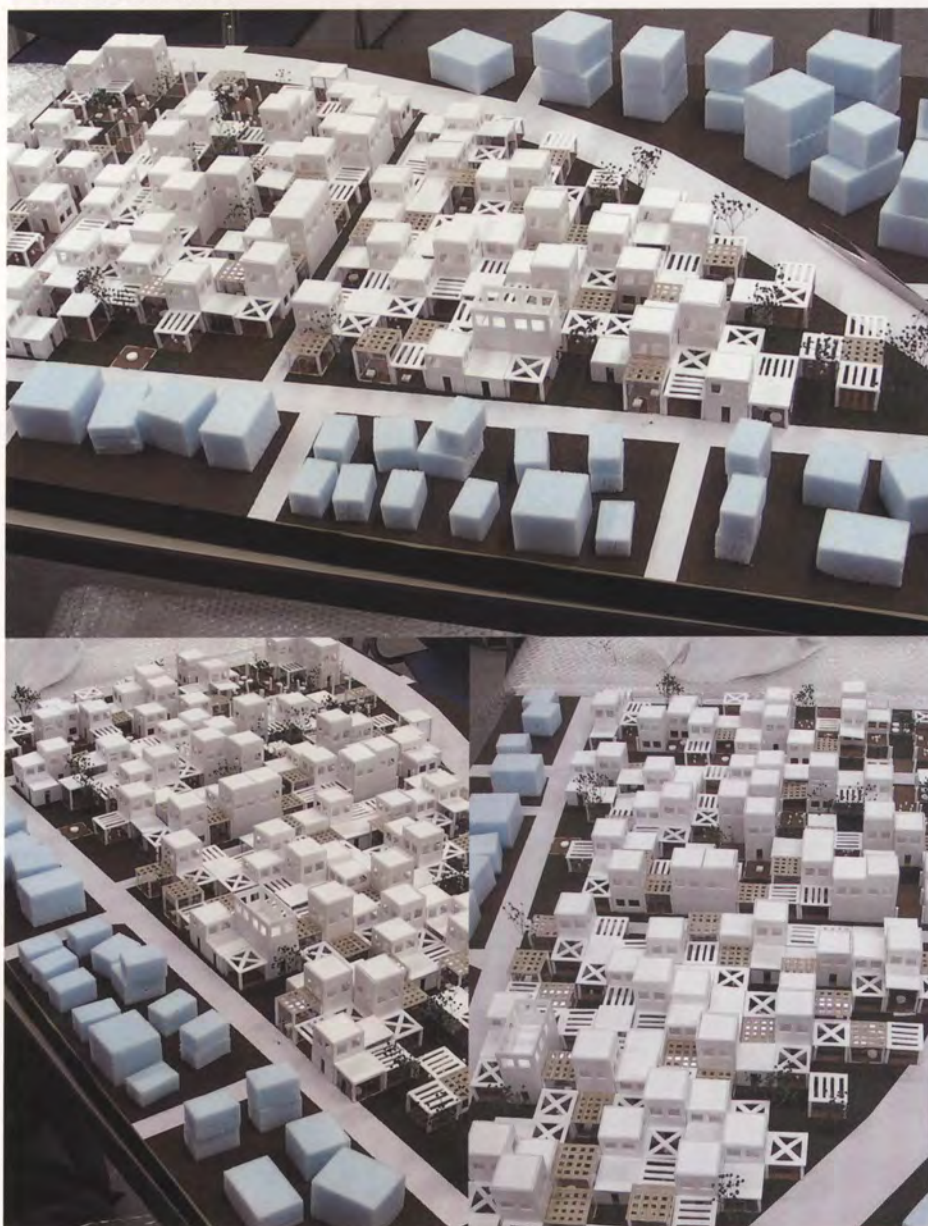
(担当教員：木下 太)

Taiga Nishimura

西村 大河

名古屋市在住
併修生（東海工業専門学校金山校）
20代

model & work panel



concept

川崎市は、工場と特に研究所が国公立・民間を問わず多い地域である。中原区の隣接区には研究のためのビルのサイエンスパークがあるが、一般市民・アーティストの利用や、街の機能との交流は図られていない。また、研究機関や工場が多い地域には、部品調達や金型製作、外注のため町工場も多く存在している。研究機関は隣接区と民間企業で充分なので、情報交換・相互利用する程度とし、町工場とアーティストや一般市民を繋いで創造するための場、商店街のような街の機能や中原区で盛んな農業や園芸の機能も取り込んだ街を計画する。

comment

川崎の町工場を再興するため、アトリエ・農園・商店などを取り込み、市民のための公園のような町を作ろうという作品。パブリック/プライベートの度合に応じて外部/半外部/半内部/内部と4つのグレードに区分された単位空間がランダムに配置されて、グラデーションを描くように境界の曖昧な場所が作り出されている。町を散策する市民はいつの間にか町工場に近付き、工場とアトリエの先端的な共同作業を目にする、といったように自然に交流が促される仕掛けである。多様な場所が次々と現れる予測不可能な建築体験を想像するだけでも楽しい。このデザイン手法を発展させれば更なる可能性が見出せそうな、大きなポテンシャルを秘めた提案である。

(担当教員：久原 裕)

Yuko Miyata

宮田 優子

神奈川県在住
福祉住環境コーディネーター、元技術者
40代前半



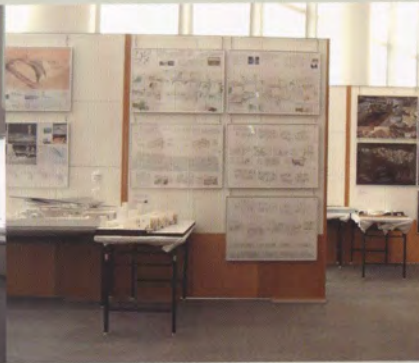
2年前に前職を辞める直前、LED用の封止樹脂の開発をしていました。その頃に照明デザイナーや建築家はLEDをどう思っていて、欲しい特性は何だろう?と思い、照明やインテリアの勉強を始めました。段々興味が広がっていったことと、建築家は何を考えているのだろう?という疑問が入学のきっかけです。実務が地味なので、卒研は大きなことをやってみたかったという思いでこのテーマにしました。

今後は、卒研の続きを進めつつ、卒研の影のメインテーマの中間領域と、欲を張ると五感で楽しめる空間について考え続けていけたらいいなと思っています。

おまけ 好きなこと:美しいものを見ること、草木染、アクセサリ作り、アロマテラピー

卒業研究展の記録

愛知産業大学 主催 展覧会



名古屋展

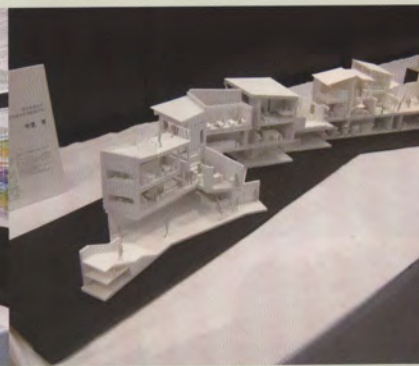
会場	名古屋都市センター 企画展示コーナー (金山南ビル 11F) 〒460-0023 名古屋市中区金山一丁目1-1
会期	2014年2月18日(火)~3月2日(日)
時間	10:00~18:00(火~木)・10:00~20:00(金) 10:00~17:00(土日)
内容	通信教育部造形学部建築学科の優秀作品17点
入場料	無 料



東京展

会場	建築会館 ギャラリー (日本建築学会会館1F) 〒108-8414 東京都港区芝五丁目26番20号
会期	2014年3月28日(金)~3月30日(日)
時間	10:00~18:00
内容	通信教育部造形学部建築学科の優秀作品17点
入場料	無 料

学外の建築系卒業展覧会



第37回学生設計優秀作品展 — 建築・都市・環境 —

主催	学生設計優秀作品展組織委員会・レモン画翠
会場	明治大学駿河台校舎 アカデミーコモン2F 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台一丁目1番
会期	2014年5月24日(火)~5月30日(木)
時間	10:00~19:00 ※最終日は16:00まで
内容	全国から約100作品出展 愛知産業大学からは中里有さんの作品(p.6)を出展
入場料	無 料



第55回全国大学・高専卒業設計展示会

主催	日本建築学会・各支部
会場	全国各地37会場を巡回
会期	2014年5月中旬~2015年2月中旬迄 (各会場共 3日間程度開催の後、巡回)
時間	各会場毎に異なります
内容	全国大学・高専より175作品展示予定 愛知産業大学通信教育部からは岩本美里さんの作品(p.4-5)を出展
入場料	無 料

公開講評会の開催



平成25年度 建築卒業研究展 卒業研究公開講評会

日 時

平成26年3月1日(土)
13:00~16:00 (開場12:30)

場 所

名古屋都市センター11階
[金山南ビル/名古屋市中区金山町1-1-1]
卒業研究展会場および大研修室(ホール)

主 催

愛知産業大学通信教育部 造形学部建築学科

ゲスト講師

鈴木 雄一郎 / 久米設計
谷 村 留 都 / アールアンドエス設計工房
眞 弓 浩 二 / アルダー環境設計室

発 表 者

伊藤 緑子 さん	開かれた街のような大学
北野 貴之 さん	雲かかる町 閉じるから開くへ
鶴田 彩希 さん	メジロの丘
中里 有 さん	あらいぶ — 生きるための街 —
納富 友羅 さん	Intersection — Fukuoka International Terminal —
橋崎 元康 さん	建築でつなぐ歴史的観光地の人と時 古郡と街を結ぶ —Time Valley—
横井 美加子 さん	AGING IN PLACE

愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科では、社会人をはじめ様々なバックグラウンドを持つ学生が、キャンパスを離れたそれぞれの生活の場を手がかりに建築を学び、卒業研究に取り組みます。
今年も意欲的な研究が約100点集まり、その中から選ばれた17点による卒業研究展を名古屋と東京で開催します。

この機会を活かし学外の専門家や研究者を招き「公開講評会」を開催いたします。

建築は、社会との関わりの中で考えられ構築され評価されるもので、それは卒業研究といえども変わりません。

広くいろいろな方からの忌憚ないご意見、ご批判を賜ることで、学生も大学もより成長できると思っています。



学外展の話題

建築系愛知9大学共同企画展



前回までは「8大学」で開催されていた共同企画展が、今回から1校加わり「9大学」*になりました。その1校とは愛知産業大学です。愛知県下の建築系各大学が、それぞれの設計課題などの模型を中心とした内容です。本学からは通学部と通信教育部を総合して検討し、通信教育部から田中麻子さんの卒業研究作品「水上コンプレックスシティ」を学内選定し出展いたしました。

会期中に9大学での合同講評会が開催され、大学の垣根を越えた貴重な機会でした。出展した田中さんも遠方でありながら会場である名古屋都市センターまで来てくださり、合同講評会では社会人らしい安定感あるプレゼンテーションを行い、他の大学の先生方から「新風を吹き込んでもらった」と評してもらえました。

*9大学：愛知工業大学、愛知産業大学、愛知淑徳大学、
椋山女子大学、大同大学、名古屋工業大学、
名古屋市立大学、名古屋大学、名城大学 [50音順]

主催 / 名古屋都市センター
協力 / 建築系愛知9大学、名古屋建築会議
会場 / 名古屋都市センター 企画展示コーナー (金山南ビル 11F)
〒460-0023 名古屋市中区金山一丁目1-1
会期 / 2013年12月17日(火)~2014年1月19日(日)
時間 / 10:00~18:00(火~木)・10:00~20:00(金)
10:00~17:00(土日)
入場料 / 無料
講評会 / 2014年1月10日(金) 17:30~19:50



第21回JIA東海学生卒業設計コンクール2014



日本建築家協会(JIA:Japan Institute of Architecture)の各支部主催で開催される学生卒業設計コンクール。制作者が直接主催者へ応募するスタイルの学外展。各支部の上位入賞者は全国大会へ参加。

本学通信教育部建築学科からも岩本美里さんが「ハシツメ ~隅田川沿いの長屋町~」(p.4~5)にて1次審査を通過し、最終審査に残りました。最終審査でも見事、佳作に入賞しJIA全国大会に進むことになりました。

このコンクールの1次審査では主にポートフォリオで審査が行われます。応募作品展示会で初めて図面パネルや模型を目にすることになります。どの作品も模型などが加わると印象が変わります。

大型で迫力ある模型もあれば、図面も模型も控えめながら、ポートフォリオの絵やレイアウトが素晴らしい作品もあり参考になります。

チャレンジングな作品に囲まれて、本学からの作品はとても端正で完成度も高く入賞しましたが、さすがに最終審査は強敵ぞろいでした。

主催 / 日本建築家協会東海支部
1次審査 / 2014年4月19日(土)

応募作品展示展覧会

会場 / 名古屋都市センター 企画展示コーナー (金山南ビル 11F)
〒460-0023 名古屋市中区金山一丁目1-1
会期 / 2014年5月27日(火)~6月8日(日)
時間 / 10:00~18:00(火~木)・10:00~20:00(金)
10:00~17:00(土日)
入場料 / 無料
最終審査 / 2014年5月31日(土) 17:30~19:50





通信教育による卒業研究の大まかな流れ

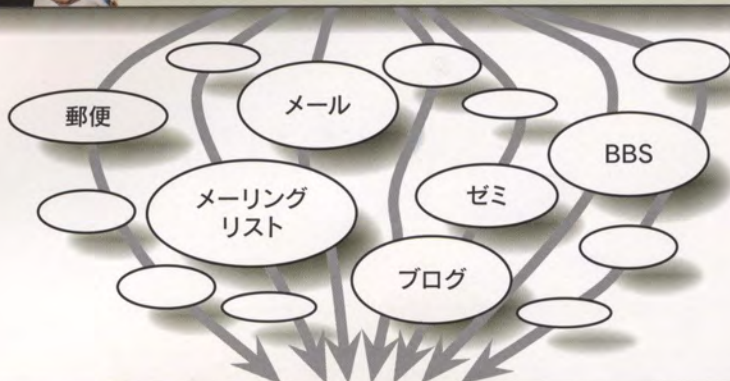
(平成26年度の予定)



卒業研究オリエンテーション

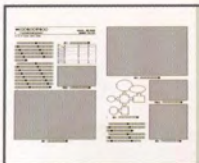
スクーリング

- ・名古屋会場もしくは東京会場にて1日受講
- ・全体説明および担当教員発表
- ・担当教員別に研究方針説明



様々なコミュニケーションによって探求を深める

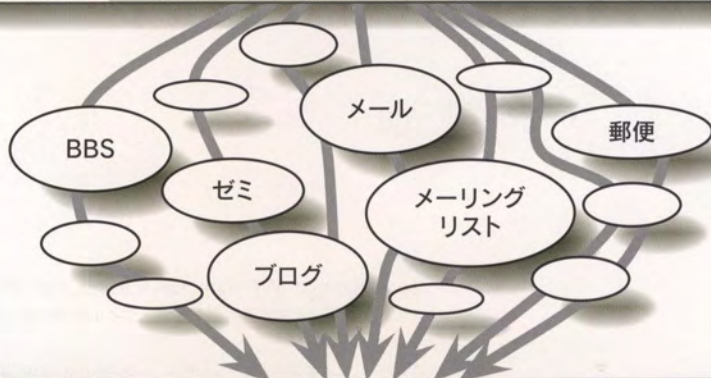
- ・研究テーマ設定
- ・調査・資料収集・分析
- ・問題提起
- ・建築的解決提案
- ・造形研究(スタディ模型など)
- ・その他必要な研究活動



中間報告

通信

- ・レポート形式



様々なコミュニケーションによって作品を深める

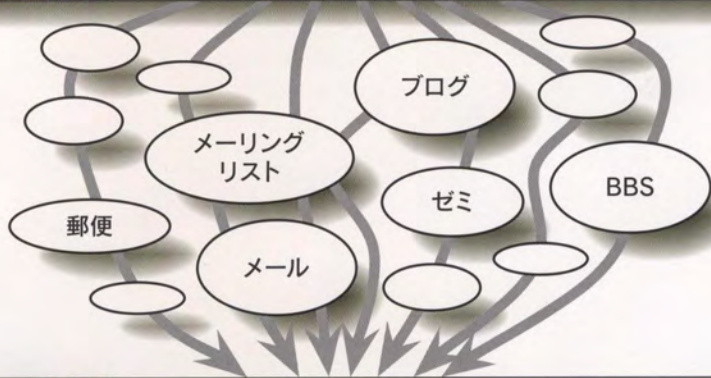
- ・建築計画
- ・図面・論文制作
- ・エスキス模型制作
- ・パネル制作



作品審査

スクーリング

- ・名古屋会場もしくは東京会場にて1日受講
- ・パネルとスタディ模型を用いたポスターセッション



様々なコミュニケーションによって完成度を高める

- ・パネルの改良
- ・完成模型の制作



最終面接審査

スクーリング

- ・名古屋会場もしくは東京会場にて1日受講
- ・完成したパネルと模型を用いたプレゼンテーション

合否判定および選出作品決定

※詳細な事務手続等は記載しておりません

AICHI SANGYO UNIVERSITY
Dept. of Architecture, Faculty of Architecture and Design,
School of Distance Learning



2013 Selected Architectural Designs of ASU

愛知産業大学 通信教育部 <http://www.asu.ac.jp/tsukyo/>
文部科学省認可通信教育

愛知県岡崎市岡町原山12-5 〒444-0005 TEL.0564-48-8282 FAX.0564-48-8270

建築学科連絡先 asut-ken@asu.ac.jp